SHARP

DVD ビデオプレーヤー

形名 DV-SF10（ディーブイ エスエフ）

取扱説明書

DVD VIDEO
VIDEO CD
COMPACT disc DIGITAL VIDEO
COMPACT disc DIGITAL AUDIO
DOLBY DIGITAL
QSOUND QSURROUND™
dts DIGITAL OUT

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用の前に、「安全にお使いいいただくために」を必ずお読みください。（6ページ）
- この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。
- 製造番号は、品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と保証書に記入されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。

もくじ

「安全にお使いいただくために」は使う前に必ず読み、正しく安全にご使用ください。

ご自分で設置するときや、初めてお使いになるときは「準備」をお読みください。→26～34ページ

ページ

ページ

本機の特長

本機は、DVDビデオディスク、ビデオCD、音楽用CDの再生が楽しめます。

詳しくは12ページをご覧ください。

DVDビデオディスクの高画質・高音質な再生が楽しめます

・DVDビデオディスクは、水平解像度500本の高画質映像と、サンプリング48kHz／16bitから96kHz／24bitのリニアPCM音声による高音質音声を楽しめます。

デジタルガンマ回路搭載

・暗部の階調を補正し、暗いシーンでも見やすい画像が楽しめます。

デジタルスーパーピクチャー回路搭載

・輪郭を強調し、細部までくっきりとした画像が楽しめます。

バーチャルドルビーサラウンド

・2chステレオ音声で拡がりのあるサラウンド音声が楽しめます。

同軸デジタル出力端子を標準装備

・同軸デジタル出力端子を標準装備していますので、同軸デジタル入力端子付ドルビーデジタル／DTSデジタルサラウンドプロセッサーやドルビーデジタル／DTSデジタルサラウンドデコーダー内蔵アンプなどと接続することにより、大迫力の臨場感あふれるサラウンド音声を楽しむことができます。（DTS音声を楽しむには、DTSデジタルサラウンドデコード機能搭載のプロセッサーまたはアンプが必要です。）

コンポーネント映像出力端子を標準装備

・コンポーネント映像(色差)出力端子を標準装備していますので、コンポーネント映像(色差)入力端子付きテレビと接続することにより、DVDビデオディスクの色調をより忠実に再現し、キレのある高品位な映像を再現します。

マルチスピード再生が楽しめます

・早送り再生、早戻し再生、スロー再生、逆スロー再生が、お好みのスピードで楽しめます。

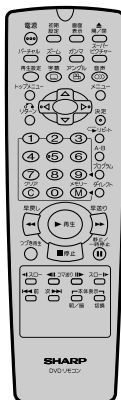
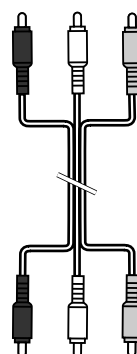
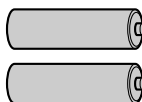
3段階ズームが楽しめます

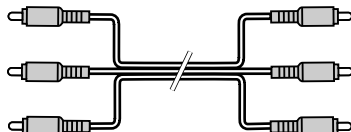
・DVDビデオディスクの映像を、3段階(約1.2／1.5／2.0倍)の部分拡大で楽しめます。拡大して見たい部分も自由に選べるので、お好みに合わせた視聴が楽しめます。

8ヶ国語画面表示

・初期設定や画面表示の言語を日本語はもちろん、その他7ヶ国語から選べます。

付属品

付属品はつぎのものが入っています

● リモコン	● S映像コード	● 映像・音声コード
● 単３形乾電池２個	● 取扱説明書（本書）	● 保証書

コンポーネント映像出力コード（市販品）

コンポーネント映像コード（市販品）をお使いください。

安全にお使いいただくために

ご使用の前に 「安全にお使いいただくために」は使う前に必ず読み、正しく安全にご使用ください。

絵表示について

この取扱説明書には、安全にお使いいただくための、いろいろな絵表示を示しています。その表示を無視し誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。

人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。

絵表示の意味

（絵表示の一例です）

気をつける必要があることを表しています。

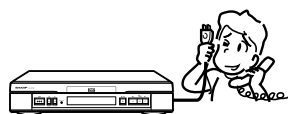
してはいけないことを表しています。

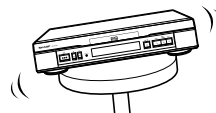
しなければならないことを表しています。

⚠警告

■煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のときは電源プラグを抜く

- 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

- 本機を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■不安定な場所に置かない

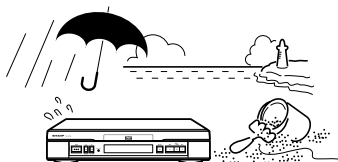
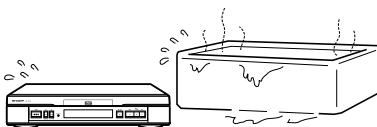
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

■交流100ボルト以外の電圧では使用しない

- 火災・感電の原因となります。

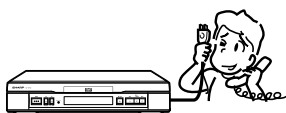
⚠警告

■本機の上には花びん、水などの入った容器を置かない

- 水がこぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

- 水を入れたり、ぬらしたりしないでください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

- 風呂、シャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

■内部に物や水などを入れない

- 本機の開口部(通風孔、ディスクトレイ開閉口など)から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 異物や水が本機の内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■雷が鳴り出したら電源プラグには触れない

- 感電の原因となります。

■電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は乾いた布で取り除く

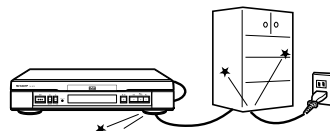
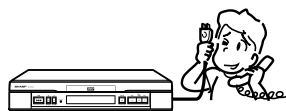
- そのままで使用すると火災・感電の原因となります。

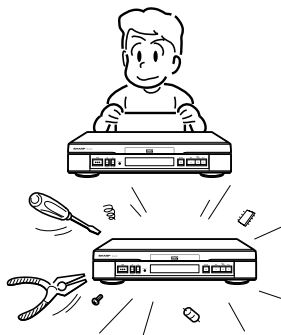
⚠警告

■電源コードを破損するようなことはしない

- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。電源コードが破損して火災・感電の原因となります。

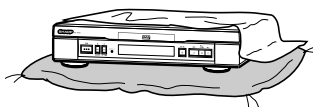
- 電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

■キャビネットは絶対に開けない

- 感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。
- 本機を分解したり改造したりしないでください。発熱・発火・感電・けがの原因となります。またレーザー光が目に当たると視力障害を起こす原因となります。

⚠注意

■本機の通風孔をふさがない

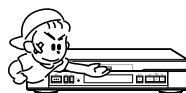
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使いかたはしないでください。

- 本機を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置く。

■油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

⚠注意

■ディスクトレイ開閉口に手を入れない

- 小さなお子さまがディスクトレイ開閉口から、手を入れないようご注意ください。けがの原因となることがあります。

■移動させるときは必ず接続コードを外す

- 移動させる場合は電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外したことを確認の上、行なってください。接続したまま持ち運ぶとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。またディスクは取り出しておいてください。

- 移動させるときは、落としたり、衝撃を与えないでください。ケガや故障の原因となることがあります。

■冷気が直接吹き付ける所や極端に寒い所には置かない

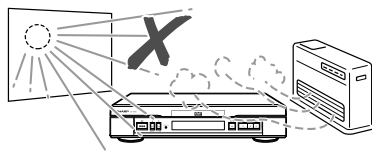
- つゆがつき、漏電、焼損、故障や事故の原因となることがあります。

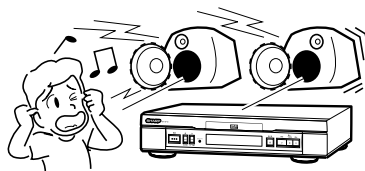
■重いものを置かない

- 本機に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

- 本機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■直射日光の当たる場所や温度の高い場所に置かない

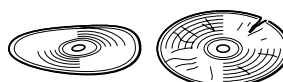
- 内部の温度が上がり、火災・感電の原因となることがあります。

■電源を入れる前にはテレビやアンプの音量を最小にする

- 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

⚠注意

■ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎない

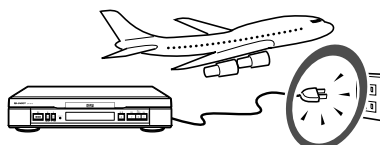
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない

- 飛び散ってけがの原因となることがあります。

■お手入れのときは電源プラグを抜く

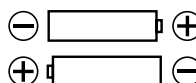
- 安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。感電の原因となることがあります。

■旅行などで長時間ご使用にならないときは電源プラグを抜く

- 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

■3年に一度くらいは本機内部の清掃を販売店に依頼する

- 本機の内部にほこりがたまったままま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、内部掃除費用については、販売店などにご相談ください。

■電池を入れるときは極性表示（プラス⊕とマイナス⊖）の向きに注意する

- 間違えると電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

■指定以外の電池や新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない

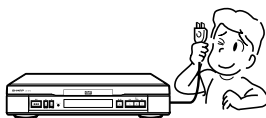
- 電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

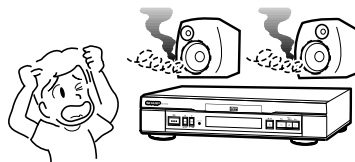
⚠注意

■電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

- コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ず電源プラグを持って抜いてください。

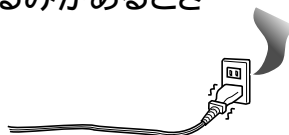
■テレビ、オーディオ機器などに接続するときは、本機の電源プラグを電源コンセントから抜く

- 電源を入れたまま接続すると、感電やけがの原因となることがあります。

■長時間、音が歪んだ状態で使わない

- スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

■電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

- 差し込みが不完全なときは、発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。
- 刃にふれると感電の原因となることがあります。

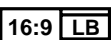
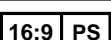
■電源プラグを根元まで差し込んでもゆるみがあるときはコンセントに接続しない

- 発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

■電源コードを熱器具に近づけない

- コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

- 感電の原因となることがあります。

使用上のご注意

本機で再生できるディスクについて

- 本機はつぎのディスクを再生することができます。

ディスクの種類	ディスクの内容	ディスク盤の大きさ
DVDビデオディスク リージョン番号 2 ALL DVD VIDEO 上記リージョン番号のついたNTSC方式のDVDビデオディスク	音声＋映像(動画)	12cm盤
		8cm盤
ビデオCD NTSC方式のビデオCD VIDEO CD / COMPACT disc DIGITAL VIDEO	音声＋映像(動画)	12cm盤
		8cm盤
音楽用CD COMPACT disc DIGITAL AUDIO	音声	12cm盤
		8cm盤(シングル)

DVDビデオディスクに表示されているマーク

- DVDプレーヤーは、DVDビデオソフトのいろいろな機能が楽しめます。
  DVDビデオソフトに記載されている機能マークを確認のうえお楽しみください。

意味と表示例		機能
・リージョン番号 (再生可能地域番号) を表しています。 2 • 1 2 6 • ALL		・本機は、「リージョン番号」が「ALL」または「2」の含まれるDVDビデオディスクの再生が可能です。
・DVDビデオディスクに記録されている画面サイズを表しています。		・本機を接続するテレビの種類 (ワイドテレビや4:3のテレビ) に応じた画面サイズが選べます。設定は「映像出力を設定する」で行います。→40ページ
	4:3	・4:3の画面サイズで記録されています。
	16:9 LB	・ワイドテレビではワイド画像を、4:3のテレビではレターボックスサイズ画像を楽しめるように記録されています。
	16:9 PS	・ワイドテレビではワイド画像を、4:3のテレビでは左右をカットした4:3の画像を楽しめるように記録されています。
・字幕の種類を表しています。 2 1：日本語字幕 2：英 語 字 幕		・リモコンの字幕ボタンまたは、再生設定画面でお好みの字幕が選べます。
・DVDビデオディスクに記録されているアングル数(前方からの撮影画像や後方からの撮影画像がある)を表しています。 2		・リモコンのアングルボタンまたは、再生設定画面でお好みのアングルが選べます。
・音声トラック数や音声記録方式を表しています。 5 音声1：オリジナル<英語>(5.1chサラウンド) DOLBY DIGITAL 音声2：日 本 語 (ド ル ビ ー サ ラ ウ ン ド) DOLBY DIGITAL 音声3：ド ル ビ ー デ ジ タ ル (ス テ レ オ) DOLBY DIGITAL 音声4：リニアPCM音声 音声5：日本語(5.1chサラウンド/DTS) dts		・DVDビデオディスクに記録されている音声をリモコンの音声ボタンで切り換えることができます。 ・記録されている音声や音声の切り換えかたはDVDビデオディスクによって異なります。DVDビデオディスクの取扱説明書で確認してください。 ・DTSデジタルサラウンド音声を楽しむときは、同軸デジタル入力端子付DTSデジタルサラウンドデコーダーが必要です。

本機で再生できないディスクについて

次のディスクは本機では再生できません。

CDG、フォトCD、CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-ROM、DVD-R、DVD-RW

DVDビデオディスク ─┬ リージョン番号が「2」「ALL」以外のディスク
　　　　　　　　　　└ MPEG音声のディスク

業務用など、特殊なフォーマットで記録されているディスクなど

- 上記のものは、全く再生できないか、映像が出ても音が出ない、音が出ても映像が出ない場合があります。
- 誤って再生された場合、大音量によってスピーカーを破損したり、ヘッドホン使用時は聴力障害の原因となる場合がありますので、絶対に再生しないでください。
- 本機はNTSC方式に適合したプレーヤーです。海外で製造されたディスクには再生できないものがありますので、ご購入の際は記録方式を確認してください。PAL、SECAM方式のディスクは再生できません。
- 傷や指紋のついたディスクは再生できない場合があります。14ページ「ディスクの取り扱いかた」をご覧になり、ディスクをクリーニングしてください。
- 特殊形状（ハート型や八角形など）のディスクは使用しないでください。故障の原因となることがあります。

認定されないディスクについて

- DVDビデオディスクには、リージョン番号（再生可能地域番号）が設けられています。本機のリージョン番号（再生可能地域番号）は「2」と「ALL」です。
- DVDビデオディスクには、正式な販売地域以外のディスクや業務用ディスクで本機での再生が禁止されているものがありますので、再生するディスクに記載されているリージョン番号（再生可能地域番号）をお確かめください。
- 本機に記載されている「リージョン番号（再生可能地域番号）2」が含まれないディスクは再生できません。
- 海賊版などのディスクには、規格を満足しない物があります。そのようなディスクは再生できません。

著作権について

- ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。
- ビデオデッキなどを接続してディスクの内容を複製しても、コピー防止機能の働きにより、複製した画像は乱れます。
- 本機は、マクロビジョンコーポレーション等が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護テクノロジーを搭載しています。この著作権保護テクノロジーの使用にはマクロビジョンコーポレーションの認可が必要であり、同社の認可がない限りは一般家庭および特定の視聴用に制限されています。解析（リバースエンジニアリング）または改造は禁止されています。
- 本機は、ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- Dolby、ドルビー、Pro LogicおよびダブルD（DD）記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
  非公開機密著作物。著作権1992～1997年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。
- DTS、DTSデジタルサラウンドは、デジタルシアターシステムズ社の登録商標です。
- バーチャルドルビーサラウンドで採用しておりますQサラウンド方式 QSURROUND™ はQサウンド社の登録商標です。

ディスクの保存のしかた

ディスクケースの中に入れ、立てて保管してください。	落としたり強い振動やショックを与えないでください。
直射日光のあたるところや熱器具などのそば、湿気の多いところは避けてください。	ほこりの多いところおよびカビの発生しやすいところは避けてください。

ディスクの取り扱いかた

ディスクのお手入れについて

- ディスクについた指紋や汚れを落とすときは、柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽くふき取るようにしてください。

- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で軽くふき取り、乾いた布でからぶきしてください。
- シンナーやベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは絶対使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。

取り扱いはていねいに

- 再生面には手を触れないでください。
- ディスクに紙やシールを貼らないでください。

再生中、映像や音声が乱れるときは

- ディスクに汚れや傷があると、映像や音声が乱れる場合があります。一度ディスクを取り出し、汚れを落としてから、再度再生をしてください。

美しい画面を見るための点検のおすすめ

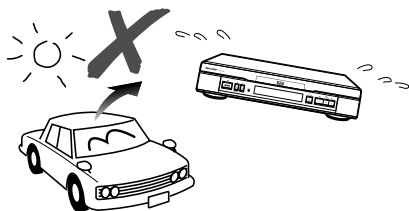
- 本機は高精度な技術によって構成された精密な機器です。
  内部のピックアップレンズが汚れたり、ディスクの駆動部分が磨耗したりすると再生ができません。
  美しい画面でご覧いただくために、使用環境によって異なりますが、およそ1000時間を目安に点検（清掃、一部部品交換）されることをおすすめします。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

つゆつきについて

- 次のような場合には、内部のピックアップレンズやディスクにつゆ（水滴）がつくことがあります。
  ●暖房をつけた直後。
  ●湯気や湿気が立ちこめている部屋に置いてあるとき。
  ●冷えた場所（部屋）から急に暖かい部屋に移動したとき。
  つゆがつくと ・・・ ディスクの信号が読み取れず、本機が正常な動作をしないことがあります。
  つゆをとるには ・・ ディスクを取り出して電源を入れておけば、約1時間位でつゆが取り除かれ、正常な動作をするようになります。

守っていただきたいこと

高温の場所で使用しないでください

窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。本機およびディスクの周囲が高温状態にならないよう十分ご注意ください。

引っ越しや輸送のときは

- ディスクを取り出してから梱包してください。
  また、ふだんご使用にならないときも、ディスクを取り出してから、電源を「切」にしてください。

キャビネットのお手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れはネルなど柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。

取扱いはていねいに

- 落下させたり、強い衝撃や振動を与えたりしないでください。故障の原因となります。持ち運びや移動の際にもご注意ください。

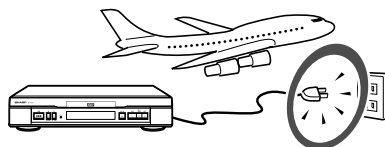
接続機器について

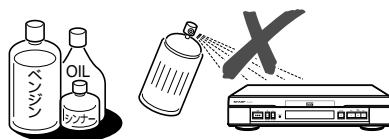
- 本機の上に、テレビなど重いものを置かないでください。画面にノイズが出たり、キャビネットが変形するなど故障の原因となります。
- 本機に接続して使用する機器の取扱説明書に記載されている「使用上のご注意」もよくご覧ください。

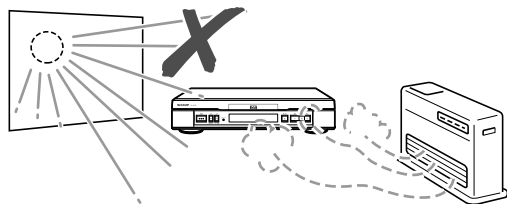
設置場所について

- 不安定な場所や振動の多い場所やほこりの多い場所には置かないでください。故障や事故の原因になります。

節電について

使い終わった後は電源を切り、節電に心掛けましょう。また旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いておきましょう。

キャビネットについて

- キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどでふいたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。
- キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。塗料がはげるなどの原因となります。

直射日光が当たる場所や熱器具の近く

キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

本書のみかた

取扱説明書の内容について

・この取扱説明書は、本機の基本的な操作のしかたを説明しています。DVDの特長として、ディスクによっては、いろいろな機能や操作を行えるものがありますので、取扱説明書に記載してある内容と異なる場合があります。このようなときは、画面に表示される内容にしたがって操作してください。

・操作中、テレビ画面に「⃠」マークが表示される場合があります。これは、取扱説明書に記載されている操作をディスク側で禁止しているときなどを表しています。

・本書内のイラスト（画面）について
画面表示やイラストは、説明のために簡略化しておりますので、実際とは多少異なります。

・絵表示と説明内容について

DVD ビデオCD 音楽用CD ･･･ 本機の機能が使えるディスクの種類を表しています。

DVD ････････････････････････ 説明している機能がDVDビデオディスクで働くことを表しています。

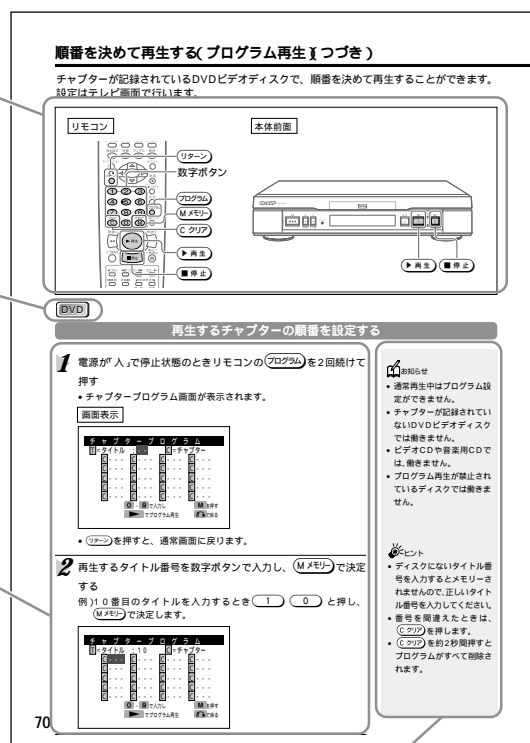
ビデオCD ･････････････････････ 説明している機能がビデオCDで働くことを表しています。

音楽用CD ･････････････････････ 説明している機能が音楽用CDで働くことを表しています。

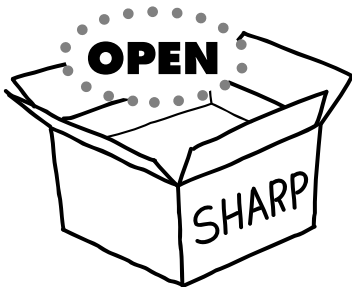
ヒント ･･････････ 操作するときの補足事項や、知っておくと便利な機能について説明しています。

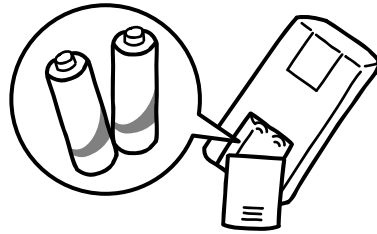
お知らせ ･････････ ヒントよりもう少し詳しい説明や、機能の制限事項などです。

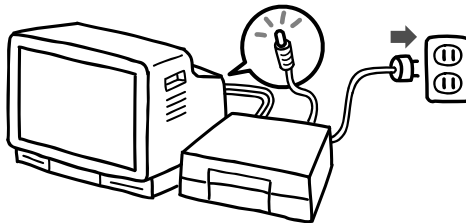
注意 ････････････ 正しくお使いいただくためのご注意や、禁止事項について説明しています。

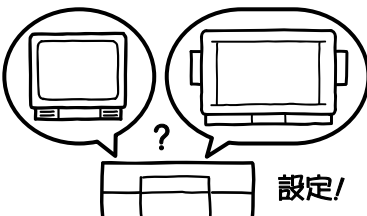
この取扱説明書のページ構成について

かんたん操作ガイド早見インデックス

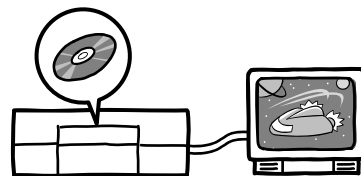
箱を開けたら…
付属品を確認します

5ページ

1 リモコンを
準備します

18ページ

2 テレビを接続し、
3 電源を入れます

19〜20ページ

4 接続した
テレビに合わせ、
初期設定をします

20〜21ページ

5 ディスクを
準備します
6 再生します

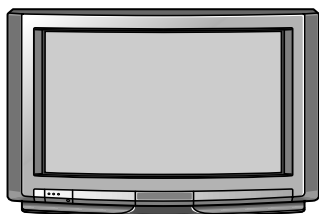
21〜23ページ

かんたん操作ガイド

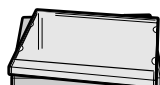
ここでは、機器の接続からディスクを再生するまでの必要最低限の操作を、手順を追って説明しています。
詳しい使いかたの説明や操作上のご注意は、本編をご覧ください。

- **接続のしかたについては……………………「準備」(25〜34ページ)**
- **初期設定のしかたについては………………「本機を楽しむための設定」(35〜49ページ)**
- **ディスクの再生のしかたについては………「ディスクを再生する」(57〜80ページ)**

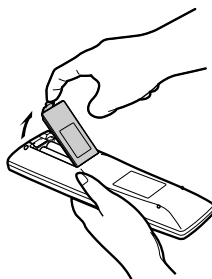
■ 準備

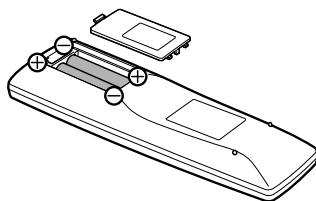
ディスクを再生して楽しむために、次の機器を準備してください。

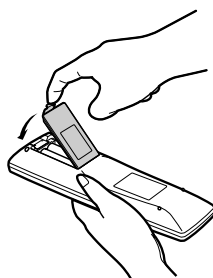
●テレビ

●本機(本体およびリモコン)

●再生するディスク

1 リモコンに電池を入れます

本機に付属のリモコンに、単3形乾電池2個を正しく入れてください。

1 裏ぶたを開ける

矢印の方向にふたを開ける。

2 乾電池を入れる

付属の乾電池〈単3形[R6]×2個〉を、収納部の⊕ ⊖ の表示どおりに入れてください。

3 裏ぶたを閉める

矢印の方向にふたを閉める。

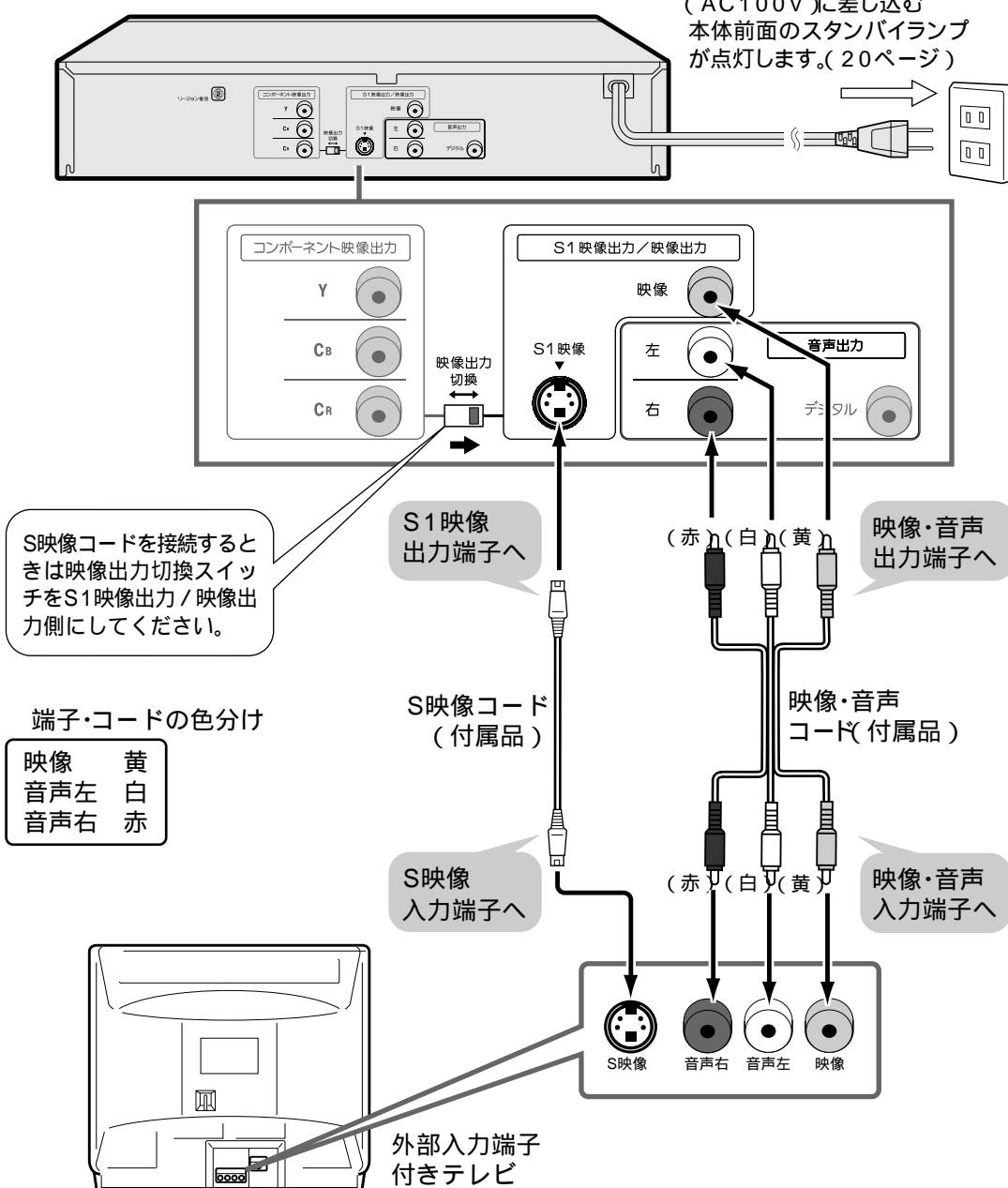
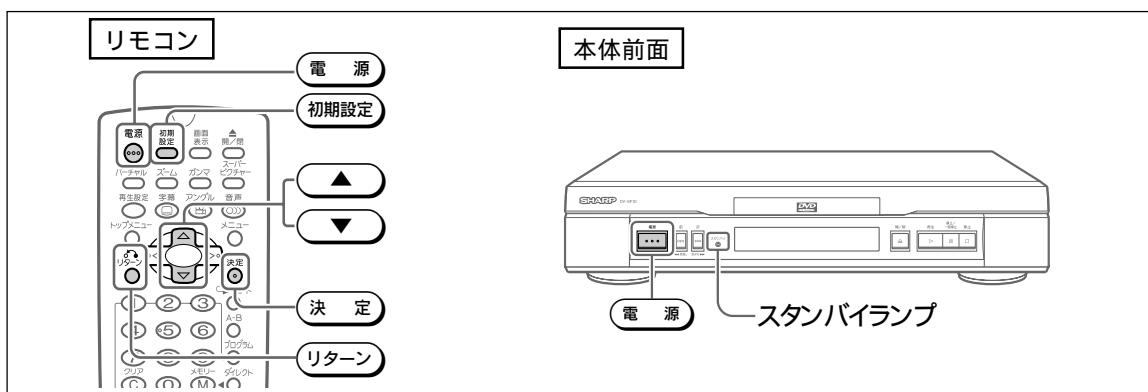
2 テレビを接続します

お使いになっているテレビと本機を、付属の映像・音声コードを使って接続します。よりきれいな映像を楽しむためにS映像入力端子付きテレビと接続するときは、S映像コードで接続することをおすすめします。

注意

本機とテレビを接続するときは、本機と本機に接続する機器の電源を切った状態で行ってください。

■端子・コードの色分け

映像　→黄
音声左→白
音声右→赤

3 テレビと本機の電源を入れます

1 ①テレビの電源を入れる
②テレビのチャンネルを、本機を接続したチャンネル(外部・ビデオなど)に切り換える

2 (電　源)を押し、本機の電源を入れる

- 本体のスタンバイランプが消灯します。
- テレビ画面に右のようなスタートアップ画面が表示されたら準備完了です。

スタートアップ画面

4 初期設定をします

本機に4:3のテレビを接続したとき(ワイドテレビではないテレビと接続しているとき)は、初期設定を変更する必要はありません。手順5に進んでください。

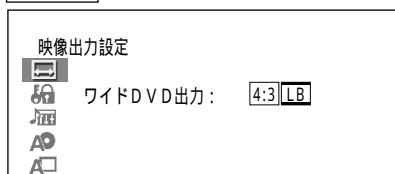
ワイドテレビを接続したときは、以下の手順で、本機の初期設定項目にある「映像出力設定」を 16 : 9 に変更します。

1 スタートアップ画面が表示されているとき、リモコンの(初期設定)を押す

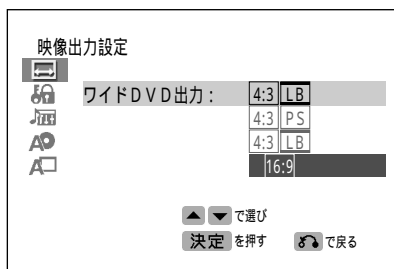
- 初期設定画面が表示されます。
- 画面表示言語設定画面(38ページ)が表示されているときは、(決　定)を押してください。

2 (▼)または(▲)を押し (映像出力設定)を選ぶ

画面表示

3 (決　定)を押す

お知らせ

- ディスクを再生していると、(初期設定)を押しても初期設定画面が表示されません。ディスクを再生しているときは停止してください。

4 ▲ または ▼ を押し「16：9」を選ぶ

5 決定 を押す

- 16：9 に設定され、初期設定画面に戻ります。

6 初期設定 を押す

- スタートアップ画面に戻ります。

これで、テレビの設定は終わりました。

ヒント
- リターン を押してもスタートアップ画面に戻ります。

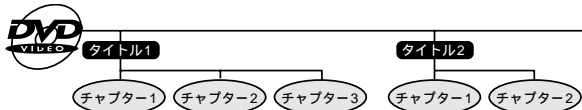
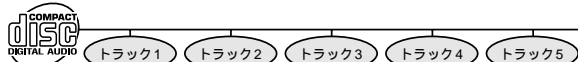
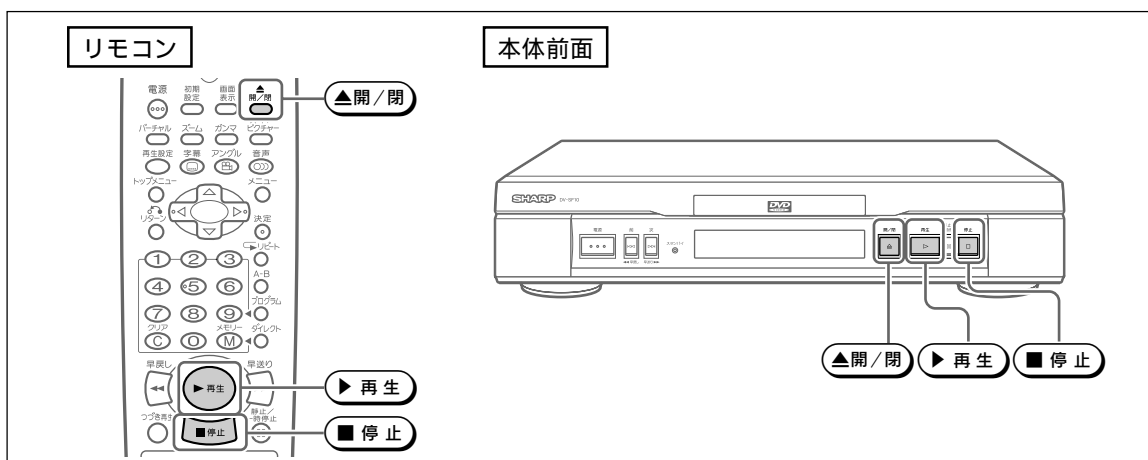
5 再生するディスクを準備します

本機にディスクを入れる前に、再生可能なディスクかどうかを次の表で確認してください。

本機で再生できるディスクについて

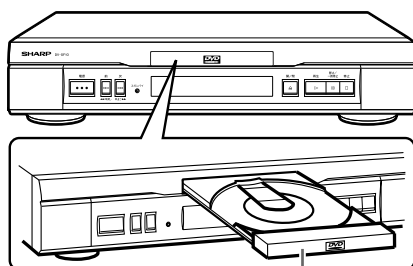
ディスクの種類	ディスクの内容	ディスク盤の大きさ
DVDビデオディスク リージョン番号 上記リージョン番号のついたNTSC方式のDVDビデオディスク	音声＋映像(動画)	12cm盤
		8cm盤
ビデオCD NTSC方式のビデオCD	音声＋映像(動画)	12cm盤
		8cm盤
音楽用CD	音声	12cm盤
		8cm盤(シングル)

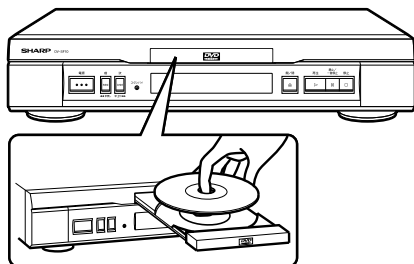
タイトル・チャプター・トラックについて

- DVDビデオディスクは、「タイトル」と「チャプター」に区切り構成されています。
  タイトルとは、例えば複数の映画が入っているDVDビデオディスクで各映画ごとをさします。
  チャプターとは、「タイトル」をさらに細かく分けたものです。
  例：DVDビデオディスクの場合

- ビデオCD、音楽用CDは、「トラック」に区切り構成されています。
  トラックとは、例えば複数の音楽が入っているCDで各曲ごとをさします。
  例：ビデオCD・音楽用CDの場合

お知らせ
- それぞれのタイトル、チャプター、トラックには順番に番号がつけられます。
  ディスクによっては、それぞれの番号が記録されていないものがあります。

6 ディスクを入れて再生する

再生できるディスクであることが確認できたら、本機に入れて再生します。

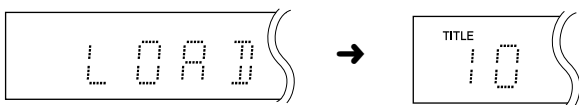
ディスクを入れる

1 (▲開／閉)を押す

• ディスクトレイが出てきます。

2 ディスクトレイにディスクを置く

3 (▲開／閉)を押す

• ディスクトレイが閉まります。

本体表示部

ヒント

• ラベル印刷面を上にして置きます。
• ディスクの大きさに合った溝に合わせて、置いてください。

注意

• ディスクに傷があったりディスクを表・裏逆に置いたときは「このディスクは再生できません」のメッセージが、リージョン番号の違うディスクを再生しようとしたときは「地域番号が違います」のメッセージがテレビ画面に表示されます。
どちらの場合も本体表示部には「ーーーーー」が表示されます。
• ディスクトレイが閉まるときに、指をはさまないよう注意してください。

ディスクを再生する

（▶再生）を押す

- 再生が始まります。

本体表示部

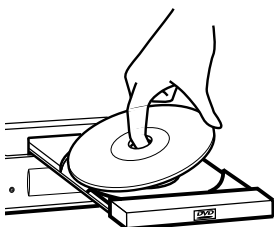
- ディスクによってはディスクトレイが閉まると自動的に再生の始まるものがあります。

再生を止めるとき

（■停止）を押す

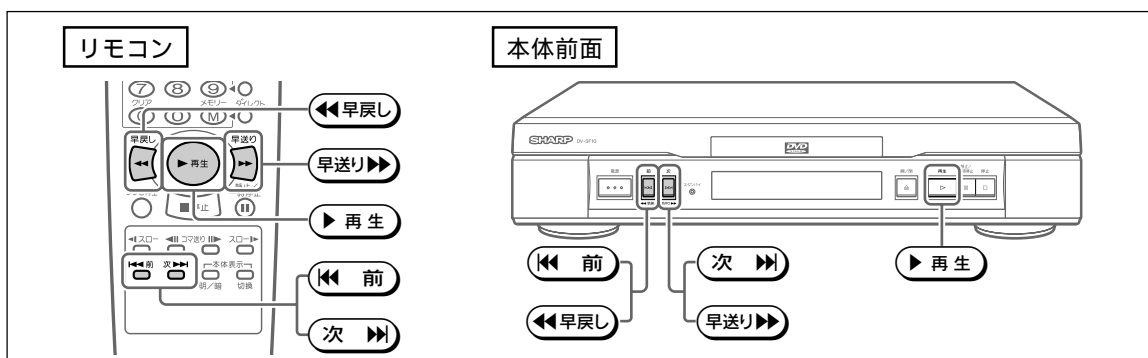
ディスクを取り出す

1 （▲開／閉）を押す

- ディスクトレイが出てきますので、ディスクを取り出します。

2 （▲開／閉）を押す

- ディスクトレイが閉まります。

注意

- ディスクトレイが閉まるときに指をはさまないように注意してください。

7 ディスク再生中のおもな操作

チャプター（トラック）の頭出しをする

■リモコンで頭出しをする

再生中にリモコンの［次 ⏭］または［⏮ 前］を押す

- ［次 ⏭］を押すと、次のチャプター（トラック）に進みます。
- ［⏮ 前］を押すと、前のチャプター（トラック）に戻ります。

■本体で頭出しをする

再生中に本体の［次 ⏭］または［⏮ 前］を押す

- ［次 ⏭］を押すと、次のチャプター（トラック）に進みます。
- ［⏮ 前］を押すと、前のチャプター（トラック）に戻ります。
- 2秒以上押し続けると、早送り（早戻し）になります。

お知らせ

- ディスクによっては頭出し（スキップ）が禁止されているものがあります。
- ディスクによっては、チャプター表示をしないものがあります。

ヒント

- ［⏮ 前］を1回押すと現在のチャプター（トラック）の先頭に戻ります。
続けて押すと押した回数分だけ曲や場面が戻ります。

早送り／早戻しする（サーチ）

■リモコンでサーチする

再生中にリモコンの［早送り ⏩］または［⏪ 早戻し］を押す

- ［早送り ⏩］を押すと、早送り再生になります。
- ［⏪ 早戻し］を押すと、早戻し再生になります。
- サーチについて詳しくは61ページをご覧ください。
- **再生画面に戻すときは［▶ 再生］を押します。**

■本体でサーチする

再生中に本体の［早送り ⏩］または［⏪ 早戻し］を2秒以上押す

- ［早送り ⏩］を2秒以上押すと、早送り再生になります。
- ［⏪ 早戻し］を2秒以上押すと、早戻し再生になります。
- 押してすぐに離すと、タイトル（チャプター）の頭出しになります。
- サーチについて詳しくは61ページをご覧ください。
- **再生画面に戻すときは［▶ 再生］を押します。**

お知らせ

- ディスクによっては、早送り/早戻しが禁止されているものがあります。

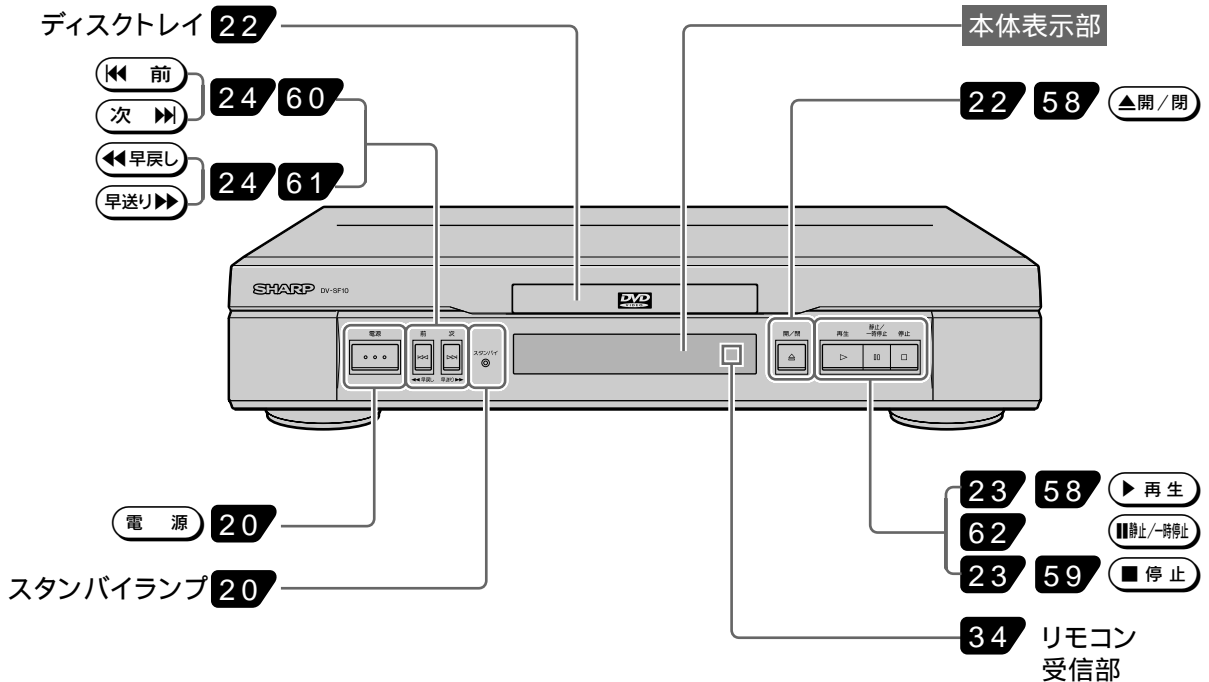
準備

本機をお使いになる前に知っておいていただきたいことや、ご自分で接続するときの接続方法などを説明しています。

ページ

各部のなまえとおもな機能

本体前面

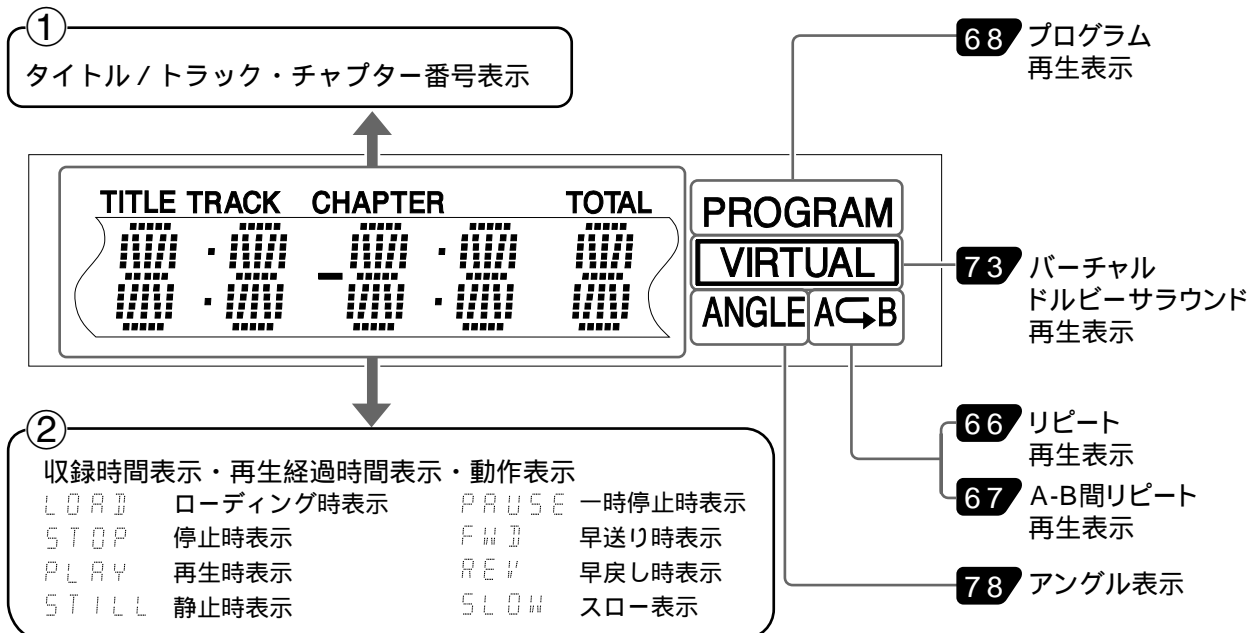
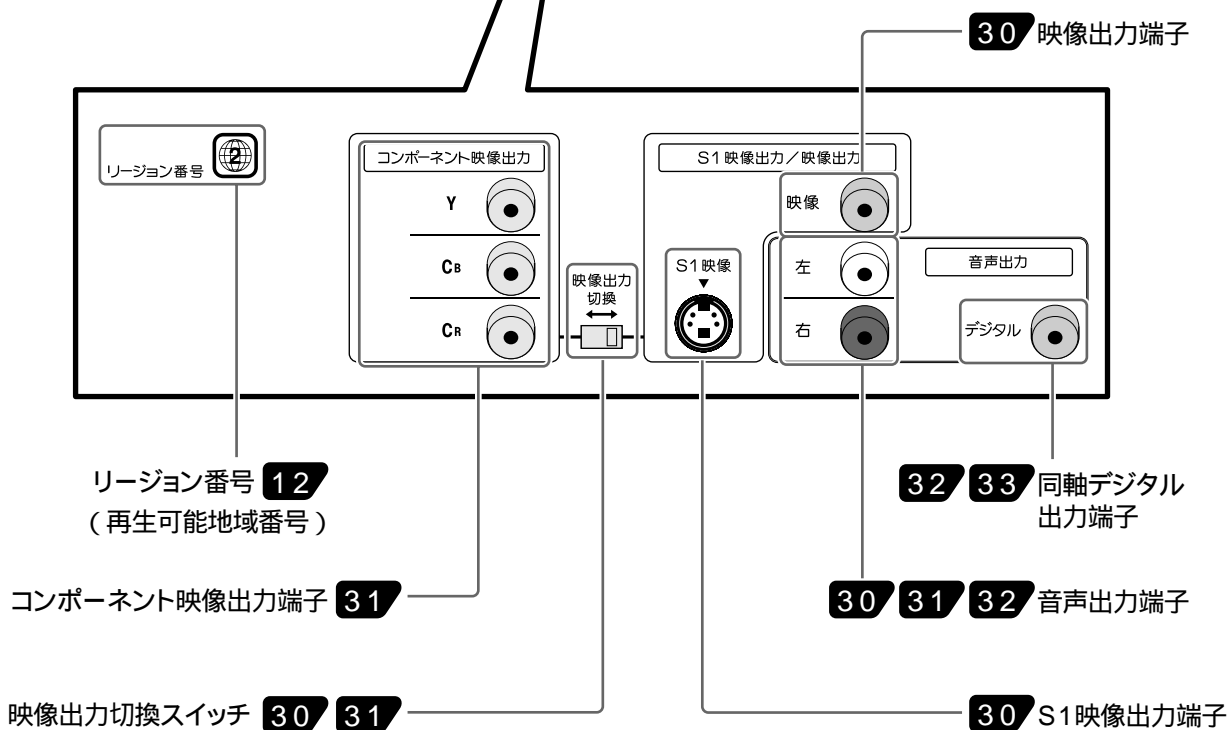
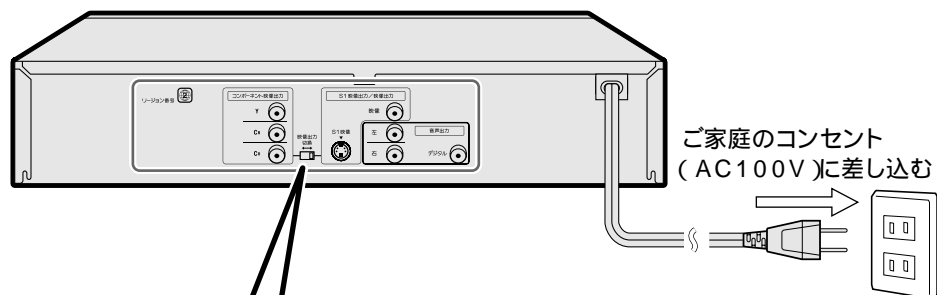
■内の番号は、本文で説明しているおもなページです。
操作ボタンの機能については、29ページをご覧ください。

本体表示部

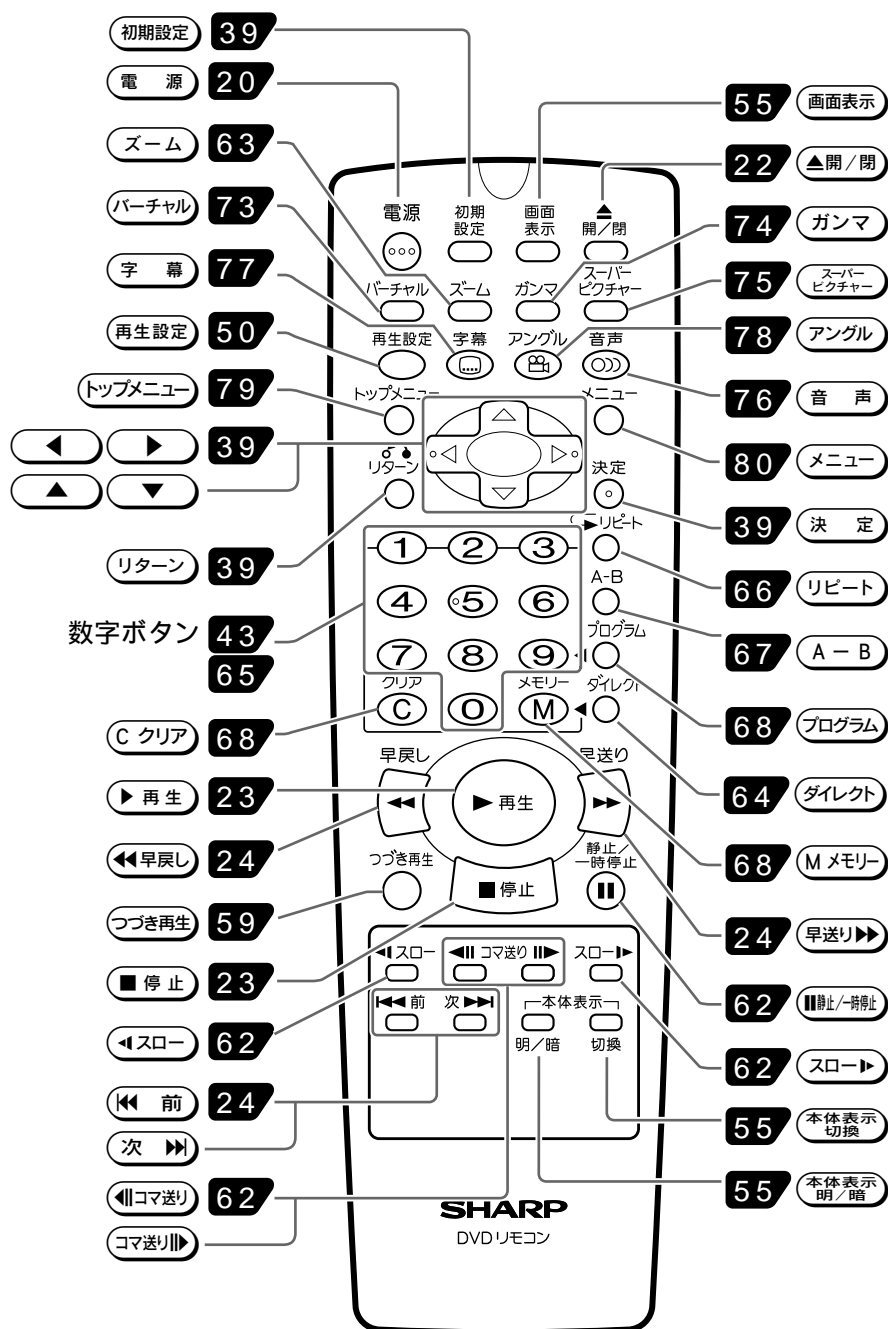
①の表示内容と②の表示内容は、リモコンの(本体表示切換)を押して切り換えることができます。

本体後面

ご家庭のコンセント
（AC100V）に差し込む
リージョン番号
コンポーネント映像出力
Y
CB
CR
映像出力
切換
S1映像出力／映像出力
映像
S1映像
左
右
音声出力
デジタル
30 映像出力端子
リージョン番号 12
（再生可能地域番号）
32 33 同軸デジタル
出力端子
コンポーネント映像出力端子 31
30 31 32 音声出力端子
映像出力切換スイッチ 30 31
30 S1映像出力端子

準備

つづく

リモコン

内の番号は、本文で説明しているおもなページです。
操作ボタンの機能については、29ページをご覧ください。

ボタンなどの名称とおもな機能

■ 本体前面操作ボタン

	ボタンなどの名称	おもな機能
か	⏏開／閉	ディスクトレイを開／閉する
さ	▶再生	ディスクの再生
	❚❚静止／一時停止	場面や曲の静止／一時停止
た	次▶▶❙	チャプター（トラック）の頭出し（送り）
	■停止	ディスクの停止
	電源	本機の電源を入／切する
は	早送り▶▶	早送り再生
	◀◀早戻し	早戻し再生
ま	❙◀◀前	チャプター（トラック）の頭出し（戻り）

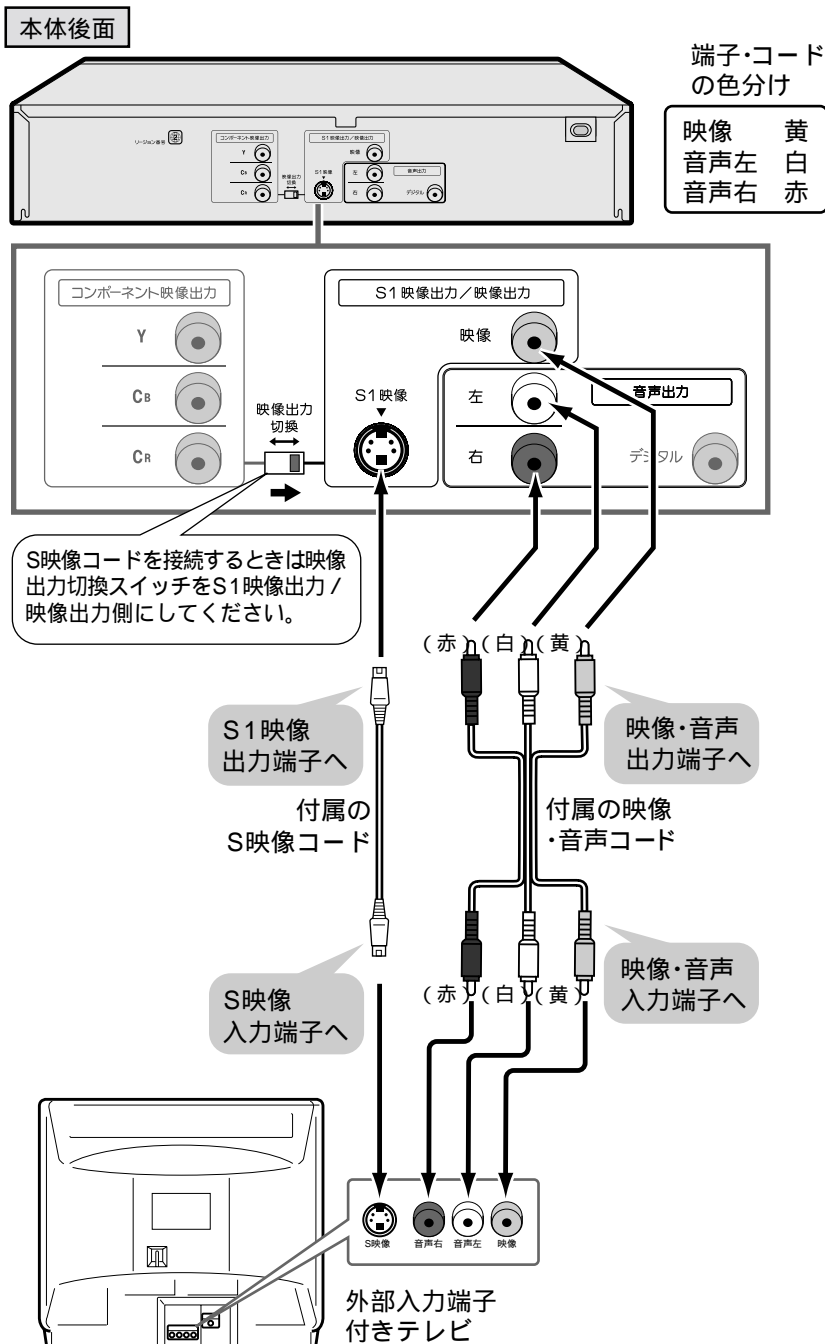
■ リモコン操作ボタン

	ボタンなどの名称	おもな機能
英字	A－B	特定の場面間(A点からB点)を繰り返し再生
	C　クリア	リモコンで入力した設定の取り消し
	M　メモリー	プログラムなどリモコンで入力した設定の記憶
あ	アングル	アングルの切換
	音声	音声の切換
か	⏏開／閉	ディスクトレイの開／閉
	画面表示	画面表示の入／切
	ガンマ	暗い部分を見やすくする機能の入／切
	決定	リモコンで入力した設定の決定
	コマ送り◀❙❙、❙❙▶	コマ送り再生(❙❙▶は送り方向・◀❙❙は戻し方向)
さ	▶再生	ディスクの再生
	再生設定	再生設定画面の入／切
	字幕	字幕を切り換える
	十字ボタン(▲)(▼)(◀)(▶)	初期設定やプログラム再生で､カーソルの移動や項目の切換
	初期設定	初期設定画面の入／切
	数字ボタン	初期設定やプログラム再生で､数値の入力をする
	スーパーピクチャー	くっきりとした映像にする機能の入/切
	ズーム	DVD再生画像の一部を拡大する
	スロー◀❙、❙▶	スロー再生(❙▶は送り方向・◀❙は戻し方向)
	❚❚静止／一時停止	場面や曲の静止／一時停止
た	ダイレクト	ダイレクトにチャプター(トラック)を選んで再生する
	次▶▶❙	チャプター(トラック)の頭出し(送り)
	つづき再生	停止したところからつづけて再生するための登録と再生
	■停止	ディスクの停止
	電源	本機の電源を入／切する
	トップメニュー	DVDビデオディスクのトップメニューを表示する
は	バーチャル	バーチャルドルビーサラウンドを入／切する
	早送り▶▶	早送り再生
	◀◀早戻し	早戻し再生
	プログラム	プログラム再生の設定
	本体表示切換	本体表示部の動作表示を切り換える
	本体表示明／暗	本体表示部の明るさを切り換える
ま	❙◀◀前	チャプター(トラック)の頭出し(戻し)
	メニュー	DVDビデオディスクのメニュー画面を表示する
ら	リターン	1つ前の画面に戻る
	リピート	繰り返し再生の設定

外部入力端子付きテレビと接続する

よりきれいな映像を楽しむためにS映像入力端子付きテレビと接続するときは、S映像コードで接続することをおすすめします。

設置時のお願い

- **本機とテレビを接続しているコードをアンテナ線と一緒に束ねないでください。テレビ放送を見るときに、画面にノイズがでるなど、電波妨害の原因となることがあります。**
- **接続するときは、本機および接続する機器の電源を切った状態で行ってください。**

お知らせ

S映像コードを使いテレビと接続したときは...

- 映像出力切換スイッチをS1映像出力／映像出力側にしてください。
- 音声コードは、本機の音声出力端子に接続してください。
- オーディオ機器で音声を楽しむときは、テレビには映像コードだけを接続してください。

お知らせ

- 本機とテレビは、直接接続してください。ビデオデッキを通してテレビで映像を見ると、コピー防止機能の働きにより、画像が乱れることがあります。

接続したテレビでDVDを楽しむとき

1. **接続したテレビの電源を入れる**
2. **接続したテレビのチャンネルを、本機を接続したチャンネル(「外部」「ビデオ」など)に切り換える**
3. **本機の電源を入れ、ディスクを再生する**
   - **再生のしかたは58ページをご覧ください。**

オーディオ機器と接続し音声を楽しむときは　32ページ

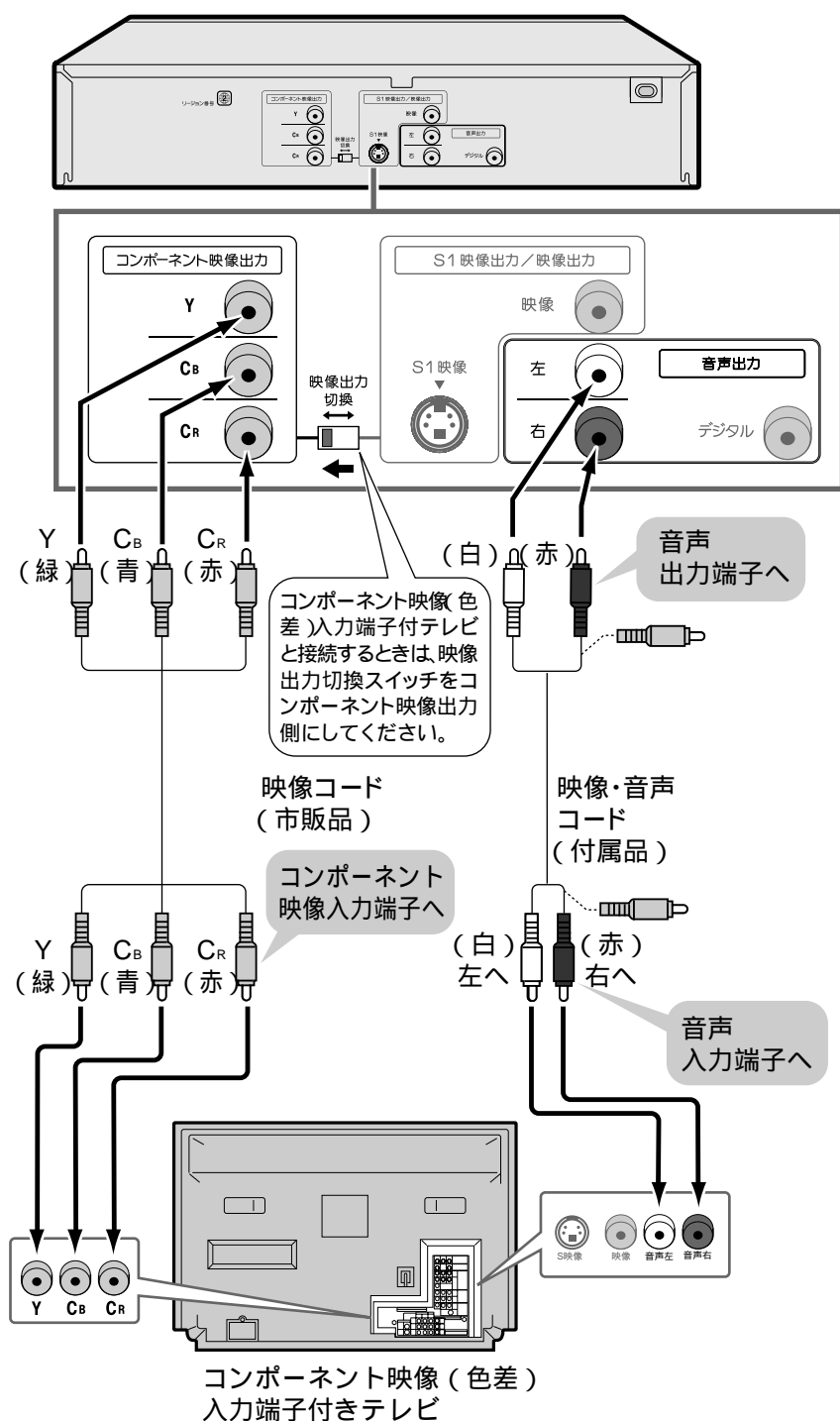
コンポーネント映像(色差)入力端子付きテレビと接続する

テレビやモニターなどには、コンポーネント映像(色差)入力端子(Y、C_B、C_R)が付いているものがあります。この端子に接続すると、よりきれいな映像が楽しめます。

本体後面

■端子・コードの色分け

音声左→白
音声右→赤

コンポーネント映像（色差）入力端子付きテレビ

お知らせ

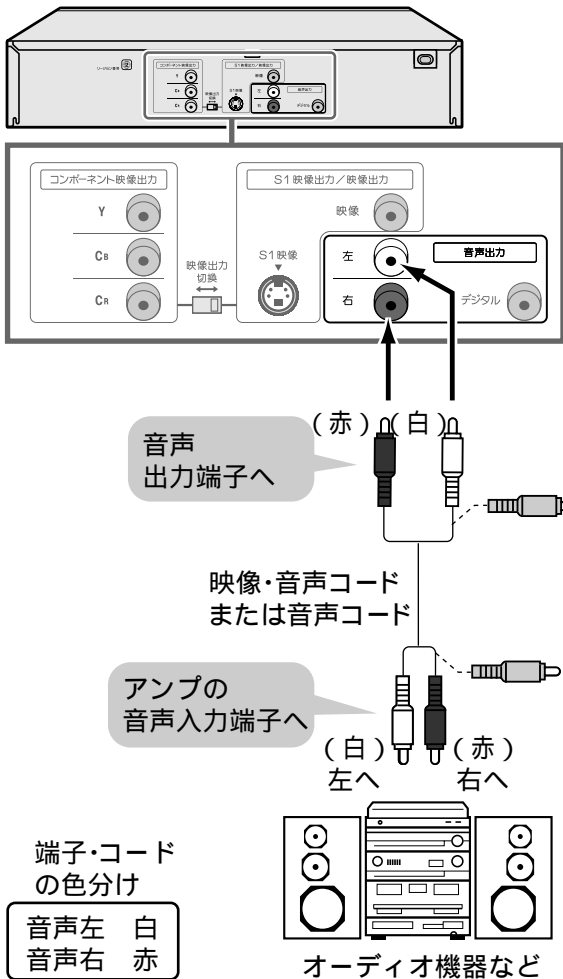
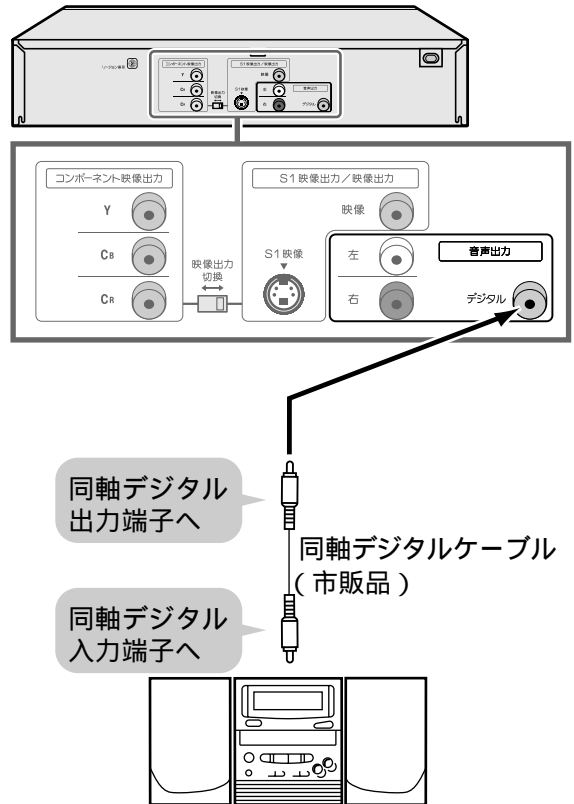
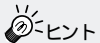
- コンポーネント映像(色差)入力端子付きテレビと接続したときは、映像出力切換スイッチをコンポーネント映像出力側にしてください。
- 本機のコンポーネント映像出力はハイビジョン用のコンポーネント映像(色差)入力とは接続できません。
- DVD用のコンポーネント映像(色差)入力を装備しているテレビやモニターと接続してください。
- ハイビジョンテレビのコンポーネント映像(色差)入力がDVDに対応しているときは、本機のC_B出力はP_B入力端子へ、C_R出力はP_R入力端子へ接続します。詳しくはテレビやモニターの取扱説明書をご覧ください。

オーディオ機器と接続し音声を楽しむときは　32ページ

準備

オーディオ機器と接続する

DVDビデオプレーヤーは、通常のステレオ音声に加えドルビーデジタル(5.1ch)やDTSの迫力ある音質効果を楽しむことができます。

2chオーディオを楽しむとき

ヒント
- オーディオ機器と接続したときは、初期設定の「DIGITAL出力レベル」を「ノーマル」に設定することをおすすめします。（44ページ）

MDとデジタル接続し、CDを録音して楽しむとき

本機とMDをデジタル接続しCDをMDに録音したときに、CDの曲番（トラック番号）とMDに記録された曲番（トラック番号）が一致しないことがあります。

■ドルビーデジタルデコーダーを内蔵していない同軸デジタル入力付きのオーディオ機器やMDプレーヤーとデジタル接続したとき

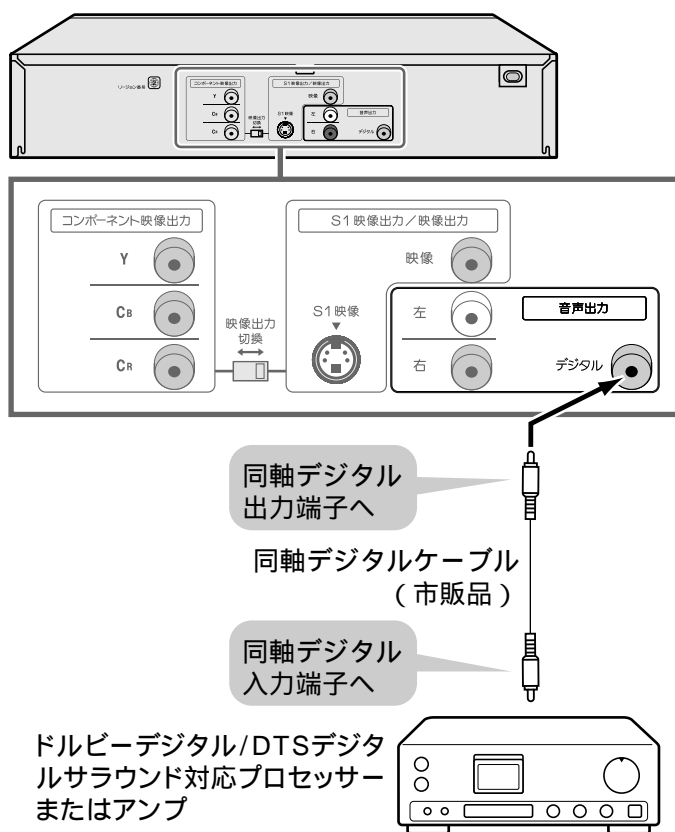
▶音楽用CDやビデオCDの場合
通常通り再生して楽しむことができます。
（DTSで記録されているディスクは正常な音声ができません。）

▶DVDビデオディスクの場合
映画などドルビーデジタル（5.1ch）やドルビーサラウンド（プロロジック）、DTSで記録されているDVDビデオディスクは、音声がでません。
アナログ接続でお楽しみください。（リニアPCM音声のディスクは音声がでます。）

▶ ドルビーデジタル／DTSデジタルサラウンドプロセッサーまたはドルビーデジタル／DTSデジタルサラウンドデコーダー内蔵アンプと本機を同軸デジタル接続することにより、大迫力の臨場感あふれるサラウンド音声を楽しむことができます。
・DTS音声を楽しむには､DTSデジタルサラウンドデコード機能搭載のプロセッサーまたはアンプが必要です。
・DTSデジタルサラウンド音声を楽しむために、ディスクメニュー(80ページ)でDTS音声を選ぶか、 音声 (76ページ)でDTS音声を選んでください。

ドルビーデジタル(5.1ch)／DTS音声を楽しむとき

• 音声の切り換えかたは、ディスクの取扱説明書をご覧ください。

本体後面

プロセッサーまたはアンプとの接続のしかたは､それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

• 同軸デジタル入力端子がないプロセッサーまたはアンプには接続できません。

準備

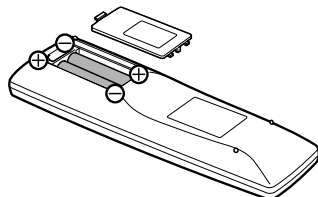
音声切り換えでDVDビデオディスクの音声をドルビーデジタル(5.1ch)／DTS音声にするときは 76ページ

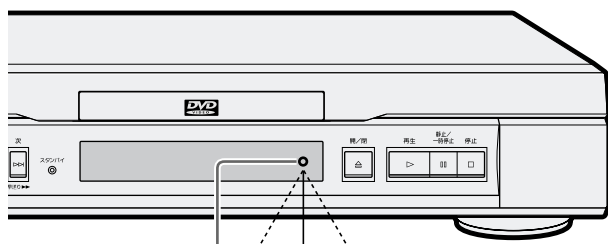
リモコンの準備と使いかた

乾電池の入れかた

リモコンをお使いになる前に、リモコンに乾電池を入れてください。
乾電池の入れかたについて、詳しくは「かんたん操作ガイド 1」(18ページ)をご覧ください。

詳しくは「かんたん操作ガイド 1」(18ページ)をご覧ください。

■乾電池を入れる

付属の乾電池〈単3形[R6]×2個〉を、収納部の⊕⊖の表示どおりに入れてください。

リモコンの操作範囲

お知らせ

- リモコンには衝撃を与えないでください。
- リモコンを水に濡らしたり湿度の高いところには置かないでください。
- 乾電池を入れ替えたとき、リモコンが正しく動作しないことがあります。
  このときは、乾電池をいったんリモコンから取り外し、5分以上たってから再度入れ直してください。
- 本体のリモコン受信部に直射日光や強い照明が当たっていると、リモコンが正しく動作しないことがあります。照明または本体の向きにご注意ください。

■乾電池は誤った使いかたをすると液もれや破れつすることがありますので、次の点について特にご注意ください。

- 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖を、表示のとおり正しく入れてください。
- 乾電池は種類によって特性が異なります。種類の違う乾電池は混ぜて使用しないでください。
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。新しい乾電池の寿命を短くしたり、古い乾電池から液がもれるおそれがあります。
- 乾電池が使えなくなったら…
  液がもれて故障の原因となるおそれもありますのですぐ取り出してください。また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。

お知らせ

- 付属の乾電池は、保管状態により短期間で消耗することがあります。早めに新しい乾電池と交換してください。(寿命は通常6ヶ月〜1年が目安です。)
- 長期間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出してください。

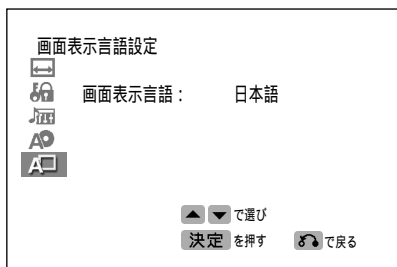
本機を楽しむための設定

本機でDVDディスクを再生するための設定について説明しています。

ページ

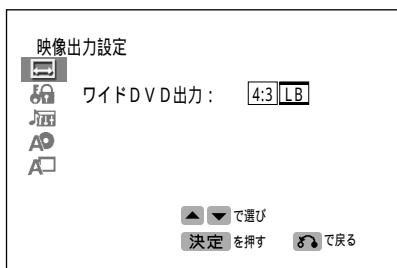
初期設定画面について

本機を使う前に初期設定で、テレビに出力する画像サイズや表示言語など、基本的な設定を行います。
ここでは、初期設定を行うときの画面について説明しています。
設定方法について詳しくは、それぞれのページをご覧ください。

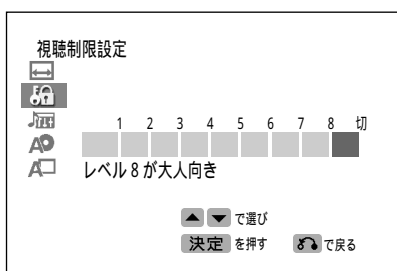
初期設定項目と設定内容について

画面表示

画面表示言語設定

(→38ページ)

- 本機の初期設定画面や再生設定画面、メッセージなどの表示言語を設定することができます。
- ご購入後、はじめて初期設定を行うときは、言語選択の画面(39ページ手順4)になります。

映像出力設定

(→40ページ)

- 本機を接続するテレビタイプ(16：9ワイドテレビや4：3のテレビなど)に合わせ、映像出力方式を設定します。
- 「4：3／PS」「4：3／LB」「16：9」の中から選べます。

パレンタル(視聴制限)レベル設定

(→42ページ)

- ホラー映画など視聴年齢制限のあるディスクを再生するとき、視聴者の年齢に合わせたパレンタル(視聴制限)レベルを設定して、暴力シーンなどをカットしたり別のシーンに自動的に差し替えることができます。
- 「レベル1」～「レベル8」、「切」の中から選べます。

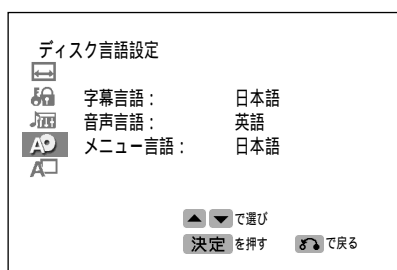
初期設定項目と設定内容について

画面表示

ドルビーデジタル音声出力レベル設定

（→44ページ）

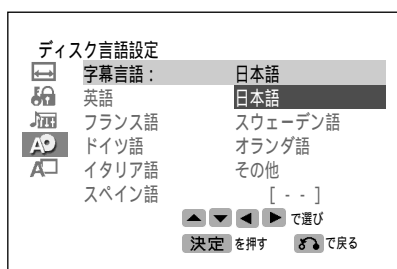
- ドルビーデジタル音声が記録されているディスクを再生するとき、適切な音量で聞こえるように設定することができます。
- 「ノーマル」「シフト」から選べます。

ディスク言語設定
字幕言語：　日本語
音声言語：　英語
メニュー言語：　日本語
で選び
決定 を押す　で戻る

ディスク言語設定

（→46ページ）

- DVDビデオディスクには、複数の字幕言語、音声言語、メニュー言語が記録されているディスクがあります。これらの言語を切り換えることができます。
- 「字幕言語」「音声言語」「メニュー言語」が設定できます。

  字幕言語 ・・・・・・・ 優先的に再生したい字幕言語を設定します。
  音声言語 ・・・・・・・ 優先的に再生したい音声の言語を設定します。
  メニュー言語 ・・・ 優先的に再生したいメニューの表示言語を設定します。

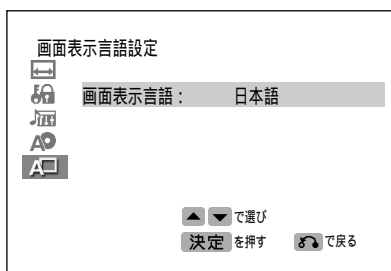
- 表示できる言語については、49ページの「言語コード一覧」をご覧ください。
- ディスクに記録されている言語の種類については、DVDビデオディスクの取扱説明書や画面をご覧ください。

画面表示言語を設定する

本機では、初期設定(36ページ)や再生設定(50ページ)を行うときの画面、操作表示、メッセージなどの表示言語を変更することができます。

日本語で表示させるとき

初期設定のメニュー画面で、「日本語」を選びます。
※工場出荷時は、「日本語」に設定されています。

初期設定画面

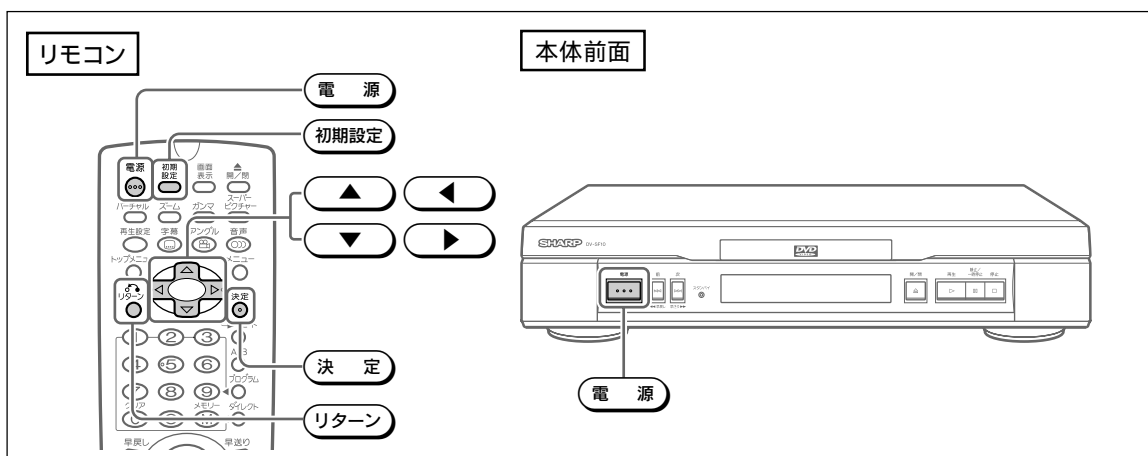
日本語で表示されます

設定は39ページ

他の言語で表示させるとき

初期設定のメニュー画面で、言語を選びます。
(下の例は「英語」を選択)

初期設定画面

英語で表示されます

設定は39ページ

画面表示言語を選ぶ

テレビの準備

本機を接続した外部入力チャンネルにする

本機の準備

本体またはリモコンの（電　源）を押す

- 電源が入り本体表示部が点灯します。

電源「入」（停止状態）のとき（初期設定）を押す

- 初期設定画面が表示されます。

（▲）または（▼）を押し （画面表示言語設定）を選ぶ

- 画面表示言語が設定されていないときは手順4の画面になります。
  手順5から操作してください。

（決　定）を押す

- 設定を途中で止めるときは、（リターン）を押してください。
  一つ前の画面に戻ります。

（▲）または（▼）、（◀）または（▶）を押し変更したい言語を選ぶ

6 **（決　定）を押す**

- 手順3の画面に戻ります。

設定を終わるときは、（初期設定）を押す

- スタートアップ画面に戻ります。

お知らせ

- ディスクの再生中は初期設定画面が表示されません。

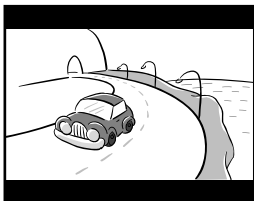
ヒント

- 他の項目を設定するときは手順3から6を行ってください。
  設定はそれぞれのページをご覧ください。

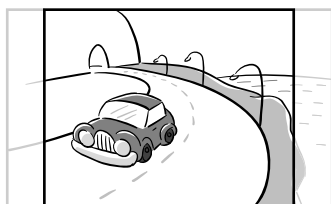
映像出力を設定する

■4:3のテレビに接続するとき

レターボックスで楽しむ

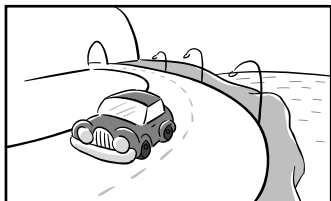
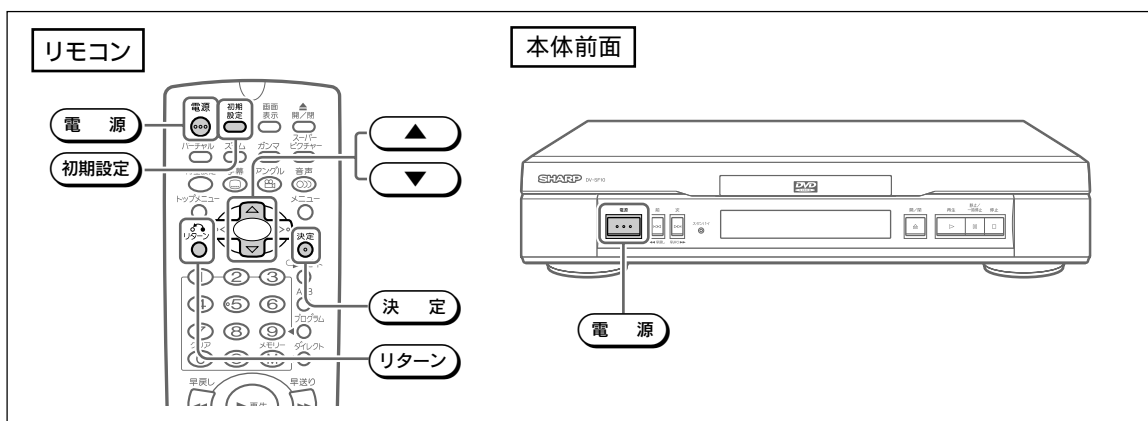
映像出力設定のワイドDVD出力を 4：3 LB にする

ワイド画像（16：9記録）のディスクを再生したとき、画像の上下に黒い帯を入れて、4:3のサイズで映像を出力します。ワイド画像（16：9記録）の全体を楽しむことができます。
4:3画像のディスクは、そのまま4:3で再生されます。

パンスキャンで楽しむ

映像出力設定のワイドDVD出力を 4：3 PS にする

ワイド画像（16：9記録）のディスクを再生したとき、画像の左右をカット（パンスキャン）して、4:3のサイズで映像を出力します。違和感の少ない画像を楽しむことができます。
ただしパンスキャン PS 指定のないワイド画像（16：9記録）のディスクは、レターボックスで再生されます。
4:3画像のディスクは、そのまま4:3で再生されます。

■16:9のテレビに接続するとき

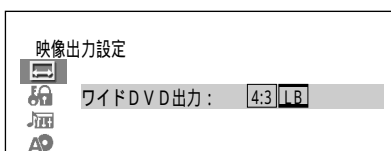
16:9ワイド画像で楽しむ

映像出力設定のワイドDVD出力を 16：9 にする

ワイド画像（16：9記録）のディスクを再生したとき、ワイド画像（16：9記録）のサイズで出力します。
4:3画像のディスクを再生したときは、接続したテレビの設定により表示が変わります。
4:3のテレビと本機を接続した状態で 16：9 を選んでいると、ワイド画像（16:9記録）のディスクを再生したとき、縦長の画面になります。

映像出力設定をするとき

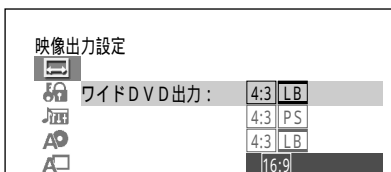
1 **39ページの手順1を行い、テレビと本機の準備をする**

2 **電源「入」(停止状態)のとき 初期設定 を押す**

- 初期設定画面が表示されます。

3 **▼ または ▲ を押し (映像出力設定)を選ぶ**

4 **決　定 を押す**

5 **▼ または ▲ を押し画面の種類を選ぶ**

- 設定を途中で止めるときは リターン を押してください。一つ前の画面に戻ります。

6 **決　定 を押し設定する**

- 手順3の画面に戻ります。

7 **設定を終わるときは、初期設定 を押す**

- スタートアップ画面に戻ります。

お知らせ

- ディスクの再生中は初期設定画面が表示されません。

ヒント

- 4:3のテレビと本機を接続した状態で 16:9 を選んでいると、16:9記録のディスクを再生したとき縦長の画面になります。

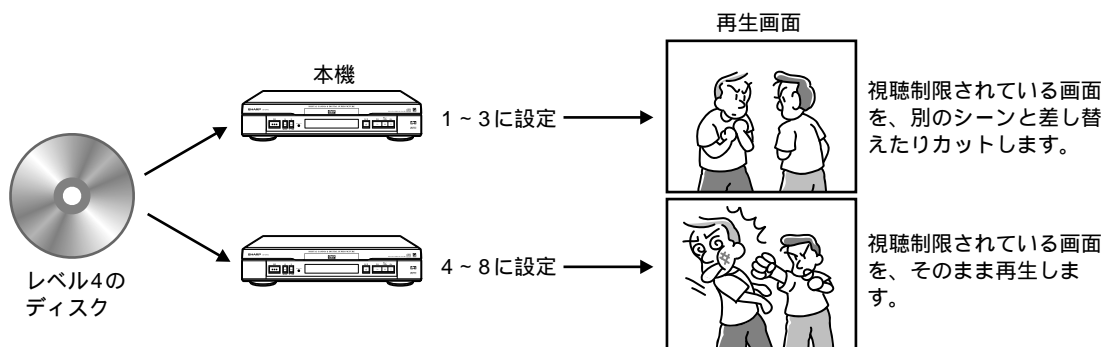
ヒント

- 他の項目を設定するときは手順3から6を行ってください。設定はそれぞれのページをご覧ください。

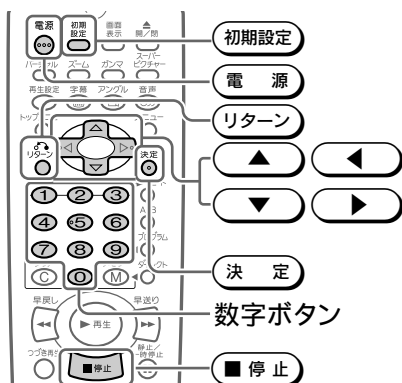
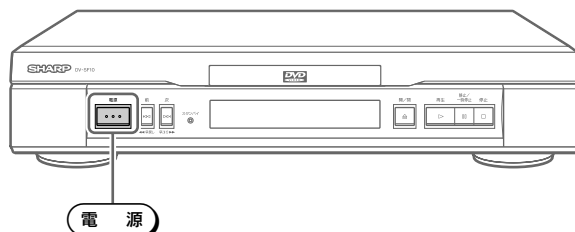
パレンタル（視聴制限）レベルを設定する

ホラー映画など視聴年齢制限のあるディスクを再生したとき、視聴者の年齢にあわせた視聴制限レベル（パレンタルレベル）を設定しておくと、暴力シーンなどをカットしたり別のシーンに自動的に差し替えることができます。

パレンタル（視聴制限）レベルについて

市販されているディスクには、その内容によってあらかじめパレンタル（視聴制限）レベルが設定されているものがあります。レベルは8段階（1〜8）あり、数字が小さいほど制限がきびしくなっています。
いっぽう本機は、どのレベルまで制限せずに再生するかを設定することができます。
たとえば制限レベル4のディスクを再生したとき、本機のレベルを4以上に設定するとそのまま再生されますが、レベル1〜3に設定すると、一部のシーンがカットされたり別のシーンに差し替えられたりします。

レベル1に設定すると	子供向けディスクを再生することができます。成人向けディスクと一般向けディスク（R指定を含む）は再生できません。	● レベル1のディスクは誰でも楽しめる内容です。
レベル2,3に設定すると	一般向けディスク（R指定を除く）と子供向けディスクを再生することができます。 成人指定ディスクと一般向け制限付き（R指定）ディスクは再生できません。	
レベル4〜7に設定すると	一般向けディスク（R指定を含む）と子供向けディスクを再生することができます。 成人指定ディスクは再生できません。	● レベル4〜7のディスクは中学生以下が見ることができない内容です。
レベル8に設定すると	すべてのディスクを制限なしに再生することができます。	● レベル8のディスクは成人しか見ることができない内容です。
「切」に設定すると	パレンタルレベルを「切」にします。	

本機のパレンタルレベル設定

本機で設定したパレンタルレベルを容易に変更できないようにするため、パスワードの設定が必要です。パスワードは、次のようなときに必要となります。
・本機で設定したパレンタルレベルを変更するとき。
・ディスクを再生中に視聴制限が働いたとき。（パレンタルレベル一時変更）

パレンタル（視聴制限）レベルを設定するとき

1 **39ページの手順1を行い、テレビと本機の準備をする**

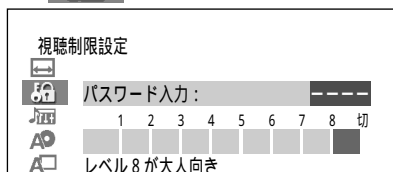
2 **電源「入」（停止状態）のとき（初期設定）を押す**

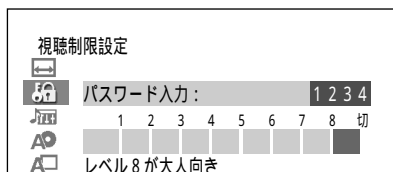
- 初期設定画面が表示されます。

3 ① **（▼）または（▲）を押し　（視聴制限設定）を選ぶ**

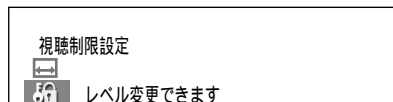
② **（決　定）を押す**

視聴制限設定
パスワード入力：－－－－
1 2 3 4 5 6 7 8 切
レベル8が大人向き

- パスワード入力画面が表示されます。
- 初めて入力するときは －－－－ が ？？？？ になります。

4 **数字ボタンを押しパスワードを入力する**

- 初めてパスワードを入力するときは、確認のために同じパスワードを再度入力します。パスワードが自動的に登録されます。

5 **（◀）または（▶）を押して視聴制限レベルを設定し、（決　定）を押す**

視聴制限設定
レベル変更できます

- 手順3の画面に戻ります。

6 **設定を終わるときは、（初期設定）を押す**

- スタートアップ画面に戻ります。

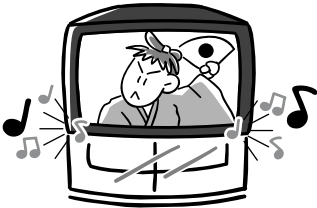
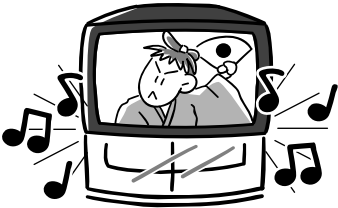
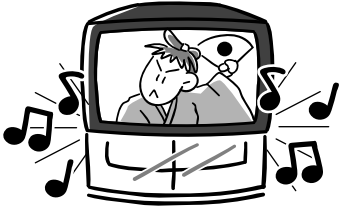
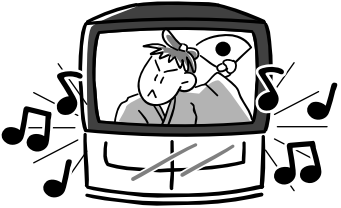
視聴制限のレベルを変更するときは手順3から5を行います。

お知らせ

- パスワードはレベルを変更するときに必要です。メモするなど控えておいてください。
- 設定したパスワードを忘れたときは、手順4でパスワードを入力するとき数字ボタンの代わりに（■ 停 止）を4回連続で押せば解除できます。
- 視聴制限のあるディスクの再生中、視聴制限が働き見られない画像のあるシーンでは視聴制限一時変更画面が表示されます。このとき、パスワードを入力し、一時的に視聴制限レベルを変更することができます。

ヒント

- 設定を途中で止めるときは（リターン）を押してください。一つ前の画面に戻ります。

ヒント

- 他の項目を設定するときは手順3から5を行ってください。

ドルビーデジタル音声出力レベルを設定する

DVDビデオディスクに記録されている音声のうちドルビーデジタル音声は、音声の幅(ダイナミックレンジ)を広くとってあるため、音楽用CDの音声などと比べ、一般的に平均音量が小さく聞こえます。本機は、ドルビーデジタル音声と、音楽用CDの音声が同等の音量に聞こえるように、自動的にドルビーデジタル音声の平均音量を上げるように設定することができます。

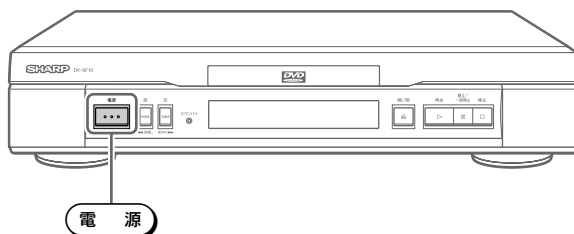
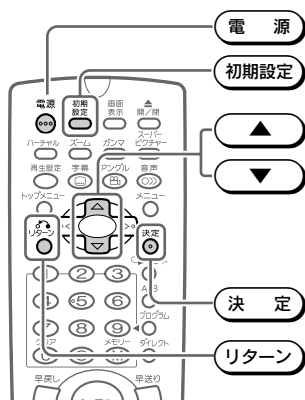
・シフトに設定すると ………… ドルビーデジタル音声を再生したとき、音楽用CDの音声と同じ音量に聞こえるように平均音量を上げます。

・ノーマルに設定すると ……… ディスクに記録されている音量レベルのまま再生します。

ヒント

- オーディオ機器と接続したときや、ディスクによって音声がおかしく聞こえるときは、「ノーマル」に設定することをおすすめします。
- 工場出荷時は「ノーマル」に設定されています。

お知らせ

- バーチャルドルビーサラウンド(73ページ)を楽しむときは、「ノーマル」に設定してください。「シフト」に設定したときは、バーチャルドルビーサラウンドが楽しめません。

DIGITAL（ドルビーデジタル）音声出力レベルを設定するとき

1 39ページの手順1を行い、テレビと本機の準備をする

2 電源「入」（停止状態）のとき（初期設定）を押す

- 初期設定画面が表示されます。

3 （▼）または（▲）を押し（音声出力設定）を選ぶ

4 （決　定）を押す

5 （▼）または（▲）を押し、設定を変更する

- 設定を途中で止めるときは（リターン）を押してください。一つ前の画面に戻ります。

6 （決　定）を押す

- 手順3の初期設定画面に戻ります。

7 設定を終わるときは、（初期設定）を押す

- スタートアップ画面に戻ります。

ヒント

- 他の項目を設定するときは手順3から6を行ってください。

ディスク言語を設定する

DVDビデオディスクには、複数の言語で「字幕」「音声」「メニュー画面」が記録されているディスクがあります。そのようなディスクの字幕言語・音声言語・メニュー言語をお好みの言語に設定することができます。
設定した言語がディスクに記録されていないときは、ディスクで決められた言語が再生されます。

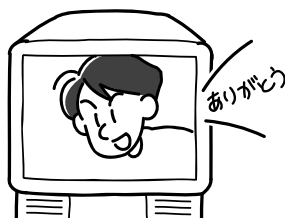
字幕言語

再生したい字幕の言語を設定します。

優先的に設定した言語で字幕が表示されます。

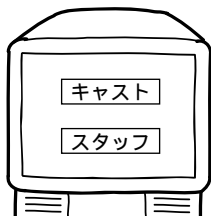
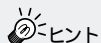
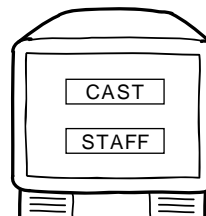
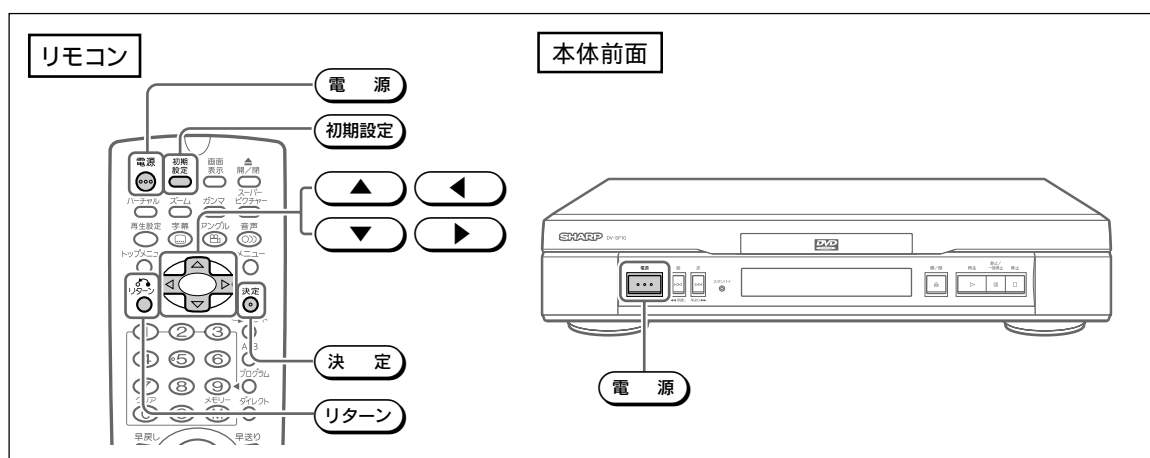
音声言語

再生したい音声の言語を設定します。

優先的に設定した言語でセリフやナレーションが聞こえます。

メニュー言語

再生したいメニューの表示言語を設定します。

優先的に設定した言語でメニュー画面が表示されます。

ヒント

- 設定した言語がディスクに記録されていないときは、ディスクで決められた言語が再生されます。ディスクに記録されている言語を確認して設定してください。

ディスク言語を選ぶ(メニュー言語の例)

1 39ページの手順1を行い、テレビと本機の準備をする

2 電源「入」(停止状態)のとき(初期設定)を押す

- 初期設定画面が表示されます。

3 ① (▲)または(▼)を押し(ディスク言語設定)を選ぶ
② (決　定)を押す

ディスク言語設定

字幕言語：	日本語
音声言語：	英語
メニュー言語：	日本語

4 ① (▲)または(▼)を押し「メニュー言語」を選ぶ
② (決　定)を押す

5 (▲)または(▼)、(◀)または(▶)を押し変更したい言語を選ぶ

- 設定を途中で止めるときは(リターン)を押してください。一つ前の画面に戻ります。

6 (決　定)を押す

- 手順3の画面に戻ります。

7 設定を終わるときは、(初期設定)を押す

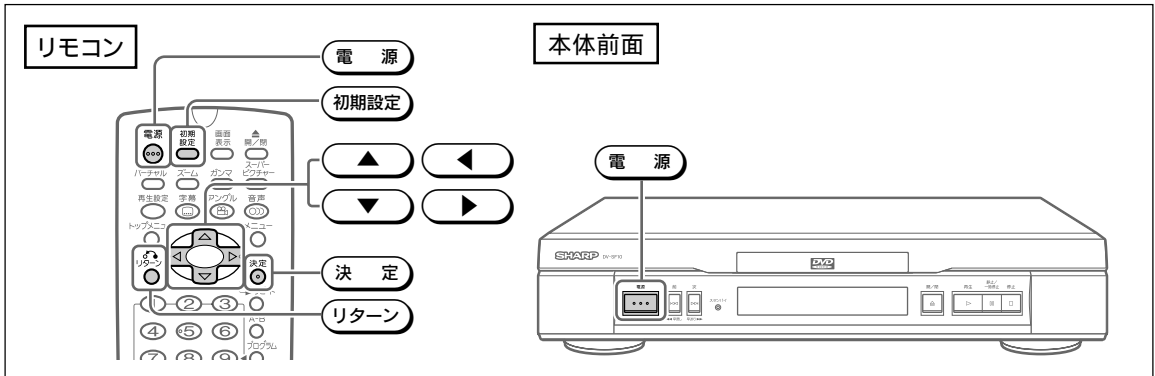
- スタートアップ画面に戻ります。

▶ 字幕言語や音声言語を設定するときも、メニュー言語と同じ手順で設定してください。

▶ その他の言語を設定するときは48ページをご覧ください。

ヒント
- 字幕言語を変更するときは「字幕言語」を選びます。
- 音声言語を変更するときは「音声言語」を選びます。

ヒント
- 他の項目を設定するときは手順3から6を行ってください。

ディスク言語を設定する（つづき）

その他のディスク言語を設定する（メニュー言語の例）

言語コードは49ページをご覧ください。

1 ① 47ページの手順1～4を行い「メニュー言語」を選ぶ
② （決　定）を押す

2 ① （▲）または（▼）、（◀）または（▶）を押し、「その他」を選ぶ
② （決　定）を押す

3 言語コードを選ぶ

① （▲）または（▼）を押して1文字目のアルファベットを選ぶ

→AA⟷BA⟷CA⟷…………⟷WO⟷ZH←

② （◀）または（▶）を押して2文字目にする
③ （▲）または（▼）を押して2文字目のアルファベットを選ぶ

例）1文字目がAのとき2文字目は
→A⟷B⟷F⟷…………⟷S⟷Y⟷Z←
の順番で切り換わります。

- 設定を途中で止めるときは（リターン）を押してください。
一つ前の画面に戻ります。

4 （決　定）を押す
- 手順1の画面に戻ります。

5 設定を終わるときは、（初期設定）を押す
- スタートアップ画面に戻ります。

ヒント
- 字幕言語を変更するときは「字幕言語」を選びます。
- 音声言語を変更するときは「音声言語」を選びます。

言語コード一覧

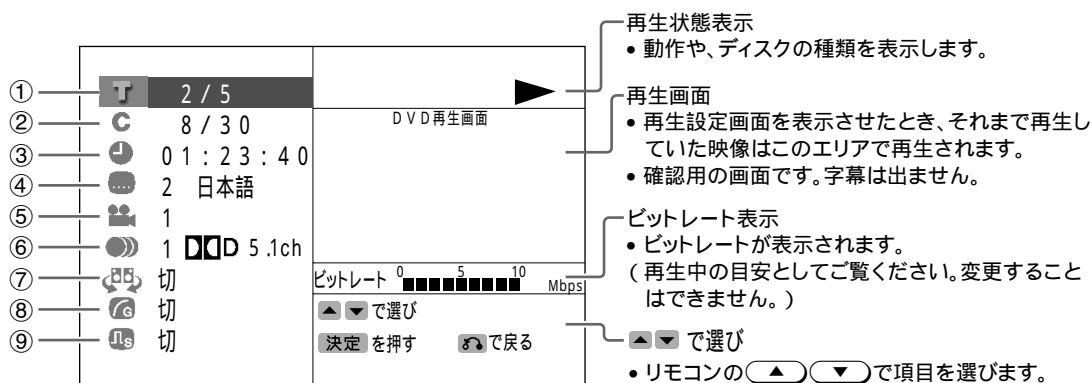
記号	言語名
AA	アファル語
AB	アブバジア語
AF	アフリカーンス語
AM	アムハラ語
AR	アラビア語
AS	アッサム語
AY	アイマラ語
AZ	アゼルバイジャン語
BA	バジキール語
BE	ベラルーシ語
BG	ブルガリア語
BH	ビハーリー語
BI	ビスラマ語
BN	ベンガル語、バングラ語
BO	チベット語
BR	ブルトン語
CA	カタロニア語
CO	コルシカ語
CS	チェコ語
CY	ウェールズ語
DA	デンマーク語
DE	ドイツ語
DZ	ブータン語
EL	ギリシャ語
EN	英語
EO	エスペラント語
ES	スペイン語
ET	エストニア語
EU	バスク語
FA	ペルシャ語
FI	フィンランド語
FJ	フィジー語
FO	フェロー語
FR	フランス語
FY	フリジア語

記号	言語名
GA	アイルランド語
GD	スコットランドゲール語
GL	ガルシア語
GN	グアラニ語
GU	グジャラート語
HA	ハウサ語
HI	ヒンディ語
HR	クロアチア語
HU	ハンガリー語
HY	アルメニア語
IA	国際語
IE	国際語
IK	イヌピック語
IN	インドネシア語
IS	アイスランド語
IT	イタリア語
IW	ヘブライ語
JA	日本語
JI	イディッシュ語
JW	ジャワ語
KA	グルジア語
KK	カザフ語
KL	グリーンランド語
KM	カンボジア語
KN	カンナダ語
KO	韓国語
KS	カシミール語
KU	クルド語
KY	キルギス語
LA	ラテン語
LN	リンガラ語
LO	ラオス語
LT	リトアニア語
LV	ラドビア語、レット語
MG	マダカスカル語

記号	言語名
MI	マオリ語
MK	マケドニア語
ML	マラヤーラム語
MN	モンゴル語
MO	モルダビア語
MR	マラータ語
MS	マレー語
MT	マルタ語
MY	ミャンマー語
NA	ナウル語
NE	ネパール語
NL	オランダ語
NO	ノルウエー語
OC	プロバンス語
OM	アファン語（オロモ語）
OR	オリヤー語
PA	パンジャブ語
PL	ポーランド語
PS	パシュトー語
PT	ポルトガル語
QU	ケチュア語
RM	ラエティ＝ロマン語
RN	キルンディ語
RO	ルーマニア語
RU	ロシア語
RW	キニャルワンダ語
SA	サンスクリット語
SD	シンド語
SG	サンゴ語
SH	セルビアクロアチア語
SI	シンハラ語
SK	スロバキア語
SL	スロベニア語
SM	サモア語
SN	ショナ語

記号	言語名
SO	ソマリ語
SQ	アルバニア語
SR	セルビア語
SS	シスワティ語
ST	セストゥ語
SU	スンダ語
SV	スウェーデン語
SW	スワヒリ語
TA	タミール語
TE	テルグ語
TG	タジク語
TH	タイ語
TI	ティグリニャ語
TK	トゥルクメン語
TL	タガログ語
TN	セツワナ語
TO	トンガ語
TR	トルコ語
TS	ツォンガ語
TT	タタール語
TW	トウィ語
UK	ウクライナ語
UR	ウルドゥ語
UZ	ウズベク語
VI	ベトナム語
VO	ボラピュク語
WO	ウォロフ語
XH	コーサ語
YO	ヨルバ語
ZH	中国語
ZU	ズール語

再生設定をする

- 本機で再生をはじめるタイトルや字幕言語などを設定するときは、再生設定画面で設定を行うことができます。
- DVDビデオディスクの再生中にリモコンの(再生設定)を押すと、次のような画面になります。

お知らせ

(■停止)(メニュー)(トップメニュー)(早送り▶▶)(◀◀早戻し)やダイレクト選択ボタン（バーチャル、ズーム、字幕など）を押すと再生設定画面が解除されます。

㈰ タイトル番号表示 51

- 現在再生されているタイトルの番号が表示されます。最大99タイトルまでが表示されます。
- リモコンの(▲)(▼)または数字ボタンでタイトル番号を選び、好きなタイトルから再生することもできます。

㈪ チャプター番号表示 51

- 現在再生されているチャプターの番号が表示されます。最大999チャプターまでが表示されます。
- リモコンの(▲)(▼)または数字ボタンでチャプター番号を選び、好きなチャプターから再生することもできます。

㈫ 再生経過時間表示 51

- ディスクのはじめから現在までの経過時間が表示されます。
- リモコンの(▲)(▼)(◀)(▶)または数字ボタンで時間を指定し、ディスクの途中から再生することもできます。

㈬ 字幕言語選択表示 52

- 現在選択されている字幕番号と、各国言語が表示されます。（字幕のないディスクが入っているときは、「××」表示になります。）
- リモコンの(▲)(▼)で字幕の言語を選ぶことができます。

㈭ アングル番号選択表示 52

- 現在選択されているアングル番号が表示されます。（複数のアングルで記録されていないディスクが入っているときは、「××」表示になります。）
- リモコンの(▲)(▼)でアングル番号を選ぶことができます。

㈮ 音声選択表示 52

- 現在選択されている音声の種類が表示されます。
- リモコンの(▲)(▼)で音声の種類を選ぶことができます。

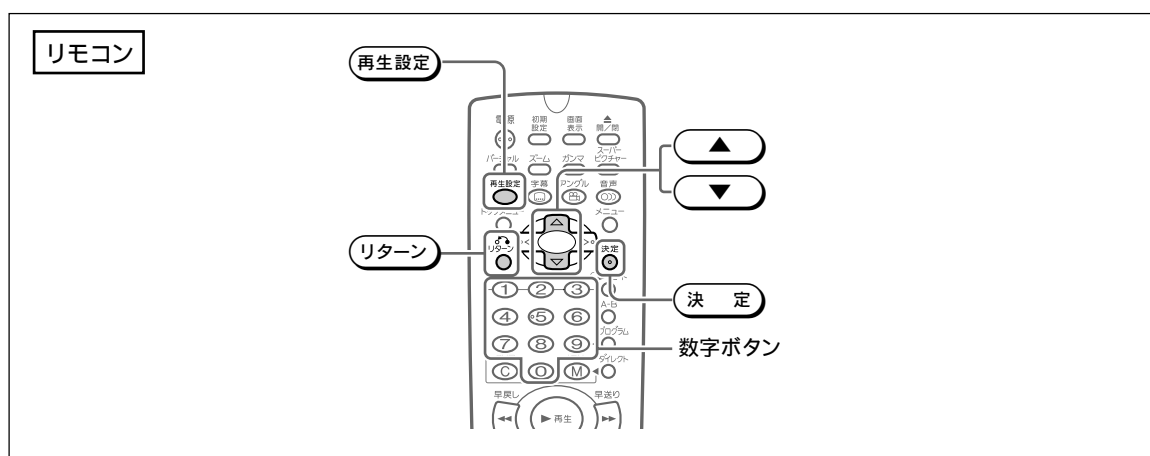
㈯ バーチャルドルビーサラウンド切換表示 53

- ステレオタイプ（2ch）のオーディオ機器やテレビで、広がりのある音声を楽しむことができます。
  ドルビーデジタル（5.1ch）音声やドルビーサラウンド（プロロジック）音声が記録されているディスクの再生で楽しめます。
- リモコンの(▲)(▼)を押すたびに、「入」⟷「切」と切り換わります。
- 「入」のとき(◀)(▶)でお好みのレベルに調整することができます。

㈷ デジタルガンマ切換表示 53

- 映像の暗くて見づらい部分を、明るく見やすいように補正することができます。
- リモコンの(▲)(▼)を押すたびに、「入」⟷「切」と切り換わります。
- 「入」のとき(◀)(▶)でお好みの映像に調整することができます。

㈸ デジタルスーパーピクチャー切換表示 53

- 映像の細かな部分や輪郭を強調し、くっきりした映像を再現したり、ノイズを少なくして見やすい映像にすることができます。
- リモコンの(▲)(▼)を押すたびに、「入」⟷「切」と切り換わります。
- 「入」のとき(◀)(▶)でお好みの映像に調整することができます。

リモコン

好きなタイトル、チャプター、時間から再生をはじめるには、次の手順で操作します。

好きなところから再生する（タイトルの例）

1 再生中に（再生設定）を押す

- 再生設定画面が表示されます。

①（▲）または（▼）を押し、T を選ぶ

②（決　定）を押す

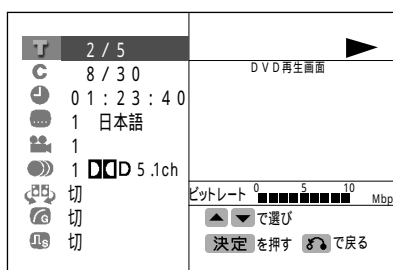
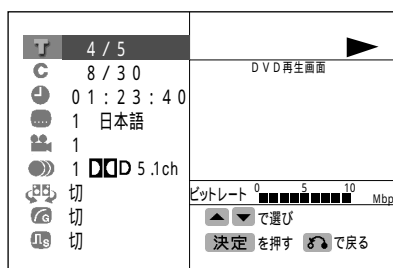
3 数字ボタンを押し、タイトル番号を選ぶ

- 設定を途中で止めるときは（リターン）を押してください。一つ前の画面に戻ります。

4（決　定）を押す

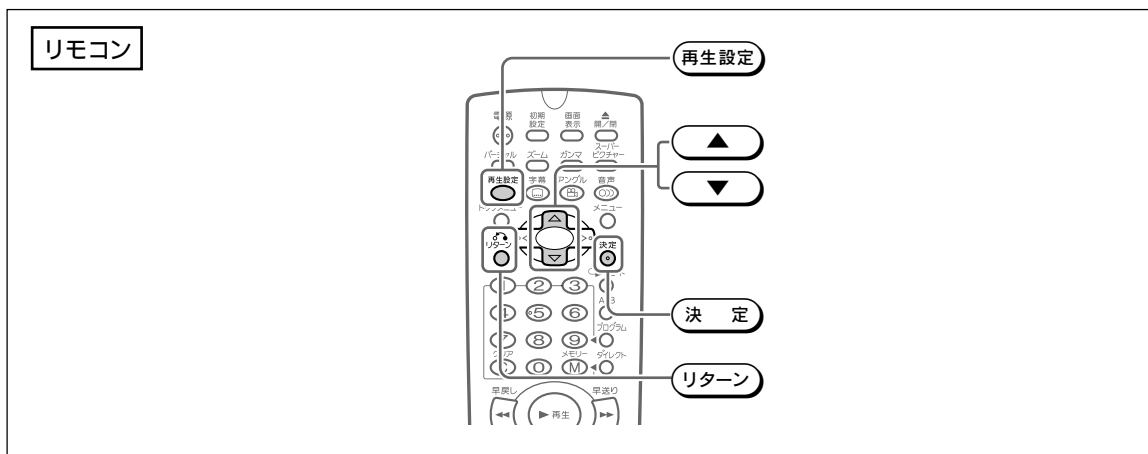
- 指定したタイトルから再生がはじまります
- 他の項目を選べるようになります。
- 続けて（再生設定）を押すと通常の再生画面に戻ります。

チャプターや時間を設定するときも、タイトルと同じ手順で設定してください。

ヒント

- 再生設定画面を出さずに、リモコンを使って直接設定内容を変更することもできます。（→64～65ページ）

ヒント

-（▼）（▲）を押してタイトル番号を選ぶこともできます。

お知らせ

- タイトルやチャプター、時間を数字ボタンで入力するときに、ディスクにない数字を入力（例：タイトルが5つしかないのに6を入力するなど）した場合、（決　定）を押すと「－－」という表示になります。

リモコン

字幕言語、アングル、音声を選ぶには、次の手順で操作します。

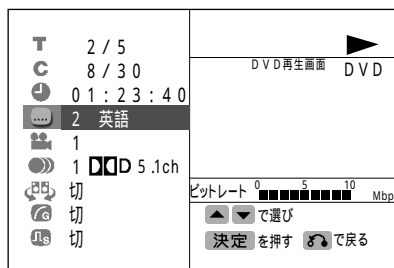
お好みの視聴方法を選ぶ(字幕言語の例)

1 **再生中に(再生設定)を押す**

- 再生設定画面が表示されます。

2 ①(▲)または(▼)を押し、(字幕)を選ぶ
②(決　定)を押す

3 **(▲)または(▼)を押し、字幕の言語を選ぶ**

- 設定を途中で止めるときは(リターン)を押してください。一つ前の画面に戻ります。

4 **(決　定)を押す**

- 他の項目を選べるようになります。
- 続けて(再生設定)を押すと通常の再生画面に戻ります。

アングルや音声を設定するときも、字幕言語と同じ手順で設定してください。

ヒント

- 再生設定画面を出さずに、リモコンを使って直接設定内容を変更することもできます。(→76～78ページ)

ヒント

- 字幕言語を設定したとき、(◀)または(▶)を押すと字幕の「入」←→「切」ができます。

デジタルガンマ、デジタルスーパーピクチャー、バーチャルドルビーサラウンドの入／切は、次の手順で操作します。

よりきれいな画像で再生する(デジタルガンマの例)

再生中に(再生設定)を押す

- 再生設定画面が表示されます。

2 ①(▲)または(▼)を押し、[G]を選ぶ
②(決　定)を押す

3 ①(▲)または(▼)を押し、「入」にする

- 押すたびに入↔切します。
- 設定を途中で止めるときはを押してください。一つ前の画面に戻ります。

②(◀)または(▶)を押しレベルを設定する

(決　定)を押す

- 他の項目を選べるようになります。
- 続けて(再生設定)を押すと通常の再生画面に戻ります。

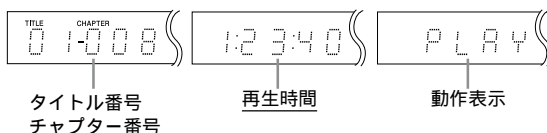
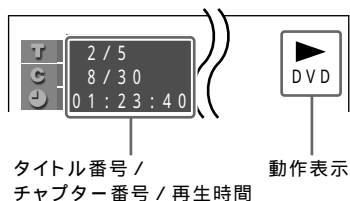
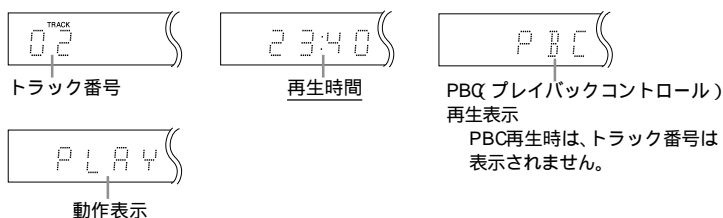
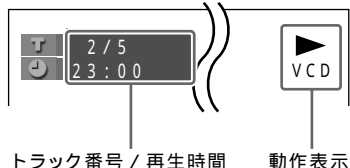
デジタルスーパーピクチャーやバーチャルドルビーサラウンドの入↔切も、デジタルガンマと同じ手順で設定してください。

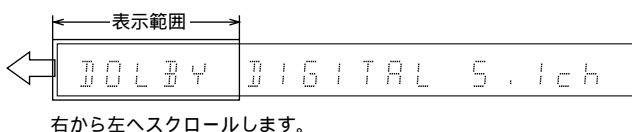
ヒント

- 再生設定画面を出さずに、リモコンを使って直接設定内容を変更することもできます。(→73〜75ページ)

動作表示と画面表示の切り換えについて

テレビ画面や本体表示部に表示される内容について

テレビ画面　**本体表示部**

DVDビデオディスクの場合

音楽用CDの場合

ドルビーデジタル5.1chの場合

テレビ画面に表示される音声表示について

DD 5.1ch　ドルビーデジタル5.1chを表示します。
LPCM　リニアPCM音声を表示します。
dts　DTS音声を表示します。

画面表示の切り換えかた

テレビの画面に表示される動作表示を常に表示させたり、表示させないようにすることができます。

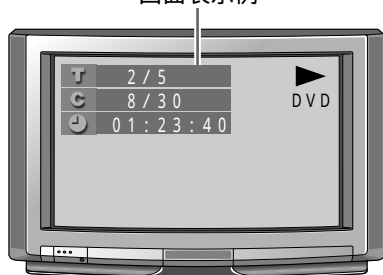
を押す

- 押すたびに「入」→「切」→「オート」の順番で切り換わります。

「オート」を選んでいるとき ‥‥‥ 動作表示を約3秒間表示します。

「入」を選んでいるとき‥‥‥‥‥ 表示を常に表示します。

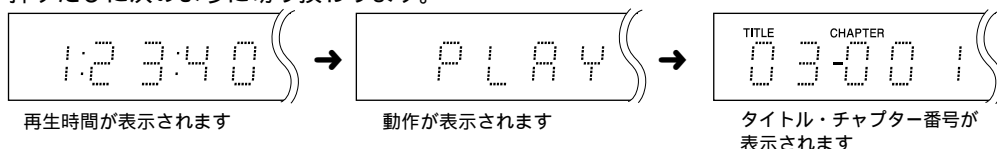
「切」を選んでいるとき‥‥‥‥‥ 表示されません。

画面表示例

お知らせ

- ディスクによっては、チャプター番号や再生時間を表示しないものがあります。

本体表示部に表示される表示内容の切り換えかた（DVDビデオディスクの例）

本体表示切換を押す。

- 押すたびに次のように切り換わります。

時間が記録されていないディスクを再生したときは動作が表示されます。

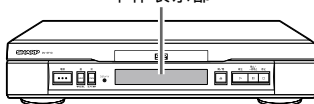
本体表示部の明るさを変える

部屋を暗くして映画などを見ているとき、本体表示部が明るく気になる場合に表示部を暗くすることができます。

リモコンの本体表示明／暗を押す

- 押すたびに本体表示部が「暗くなる」⟷「明るくなる」と交互に切り換わります。

本体表示部

本機を楽しむための設定

動作表示について

• 動作表示は、DVDビデオディスクの再生を例に説明しています。

本機	画面表示	本体表示
電源入時（ディスクなし）	ディスクを入れてください	- - - - -
ディスクトレイ開時		OPEN
ディスクトレイ閉時		CLOSE
ローディング（データ読み込み中表示）	ディスク読み込み中…	LOAD
ディスク種類	■ DVD	DVD ローディング終了後、本体表示部に3秒間表示されます。
停止	■ DVD	STOP 3秒間表示
再生	► DVD	PLAY ↓ 3秒後 TITLE CHAPTER 02-008
静止	❚❚ DVD	STILL ↓ 3秒後 TITLE CHAPTER 02-008
スロー	×1／2 ❚► DVD	SLOW ↓ 3秒後 TITLE CHAPTER 02-008
早送り	×2 ►► DVD	FWD ↓ 3秒後 TITLE CHAPTER 02-008
早戻し	×2 ◄◄ DVD	REV ↓ 3秒後 TITLE CHAPTER 02-008

ディスクを再生する

- 基本的な再生や本機の機能を使ったいろいろな再生について説明しています。
- タイトルや各機能の説明に表示されている「 DVD ビデオCD 音楽用CD 」のマークは機能ごとに使えるディスクの種類を表しています。

ディスクを再生する

1 ㈰テレビと本機の準備をする

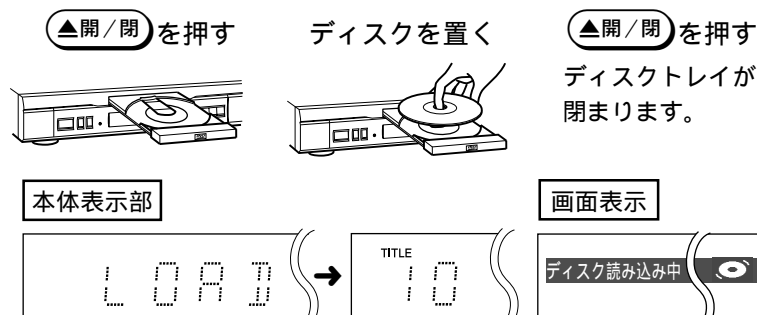
- 詳しくは20ページのかんたん操作ガイド「3テレビと本機の電源を入れます」をご覧ください。

㈪再生するディスクを準備します

- 本機にディスクを入れる前に、再生可能なディスクかどうかを12ページ、または21ページの表で確認してください。

2 ディスクを入れる

㈰▲開／閉を押す　㈪ディスクを置く　㈫▲開／閉を押す

ディスクトレイが閉まります。

- ディスクの入れかたは22ページをご覧ください。

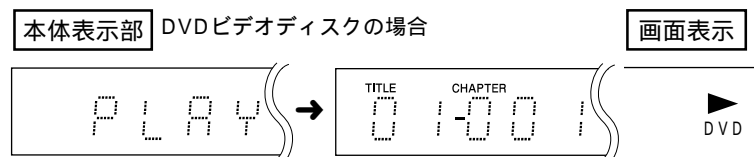
ヒント
- ディスクによっては、トレイが閉まると自動的に再生の始まるものがあります。(オートスタート対応ディスク)
- 停止時や手順2でローディング(データの読み込み)が完了すると総タイトル数が表示されます。ビデオCDや音楽用CDではTOTAL TIME(トータルタイム)と総トラック数が表示されます。

ディスクを再生する

3

を押す

- 再生が始まります。

本体表示部　DVDビデオディスクの場合　　画面表示

ヒント
- オーディオ機器で音声を楽しむときは、本機を接続している入力(AUX1、AUX2など)に切り換えてください。

再生を止める

■ 停 止 を押す

本体表示部

STOP

画面表示

■ DVD

MDとデジタル接続し、CDを録音して楽しむとき

本機とMDをデジタル接続しCDをMDに録音したときに、MDの曲番（トラック番号）はCDの曲番（トラック番号）と同じ所に記録されますが、次の場合、CDの曲番とMDに記録された曲番が一致しないことがあります。
- CDの曲間が短い場合
- CDをプログラム再生した場合や、ダイレクト再生した場合など

お知らせ
- 停止状態で5分間何も操作しないと、本体表示部に「SHARP DVD VIDEO PLAYER」がスクロールします。
- 更に25分間何も操作しないと、本体のスタンバイランプが点灯しスタンバイモードになります。
- スタンバイモードのとき ▲開/閉 、 電 源 以外のボタンは働きません。

DVD

停止した所からつづけて再生する（つづき再生）

■つづき再生をしたい場所を登録する

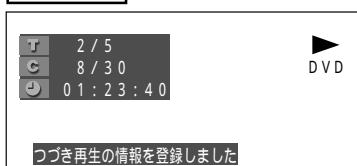
再生中にリモコンの つづき再生 を押す

- つづき再生の情報が登録されます。

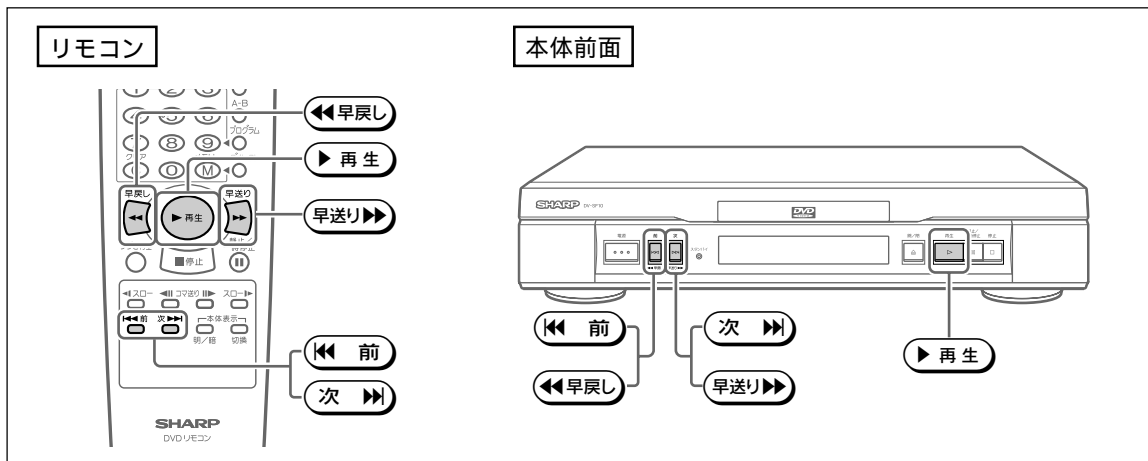
画面表示

■ 停 止 を押す

■つづき再生を登録した場所からつづけて再生する

3 リモコンの つづき再生 を押す
- つづき再生 を押した位置の少し前から再生されます。
- つづき再生をするとその登録は消えます。
- つづき登録されていないディスクでは「つづき再生」をすることはできません。
  停止中に つづき再生 を押すと画面に「つづき再生の情報が登録されていません」と表示されます。
- 再生中に つづき再生 を押すと、登録されているデータが消え、今再生しているディスクのつづき再生情報が登録されます。

お知らせ
- つづき登録されているディスクがオートスタートしたときは ■ 停 止 を押し、一度再生を停止してから、つづき再生をしてください。画面に「つづき再生をする時は停止させてください」のメッセージが表示されます。
- ディスクによっては、 つづき再生 の働かないものがあります。

いろいろな再生

タイトルや曲の頭出しやスローモーションなど、いろいろな再生が楽しめます。

DVD ビデオCD 音楽用CD

チャプター(トラック)の頭出しをする

■リモコンで頭出しをする

再生中にリモコンの 次 ⏭ または ⏮ 前 を押す

本体表示部

■本体で頭出しをする

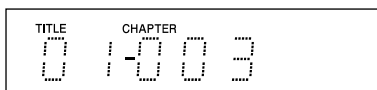
再生中に本体の 次 ⏭ または ⏮ 前 を押す

本体表示部

- 2秒以上押し続けると、早送り(早戻し)になります。

ビデオCDのPBC(プレイバックコントロール)再生をしたとき

- 次 ⏭ は「NEXT(次へ)」ボタンになります。
  ⏮ 前 は「PREVIOUS(前へ)」ボタンになります。

ヒント

- 次 ⏭ を押すと押した回数分だけ曲や場面を飛びこします。
- ⏮ 前 を1回押すと現在のチャプター(トラック)の先頭から再生されます。続けて押すと押した回数分だけ曲や場面を戻します。

お知らせ

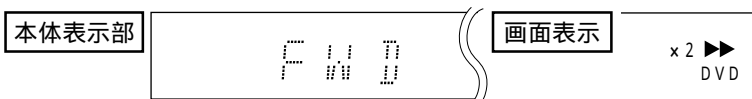
- ディスクによっては頭出し(スキップ)が禁止されているものがあります。
- ディスクによっては、チャプター表示をしないものがあります。

DVD ビデオCD 音楽用CD

早送り／早戻しする（サーチ）

■リモコンでサーチする

1 **再生中にリモコンの（早送り▶▶）または（◀◀早戻し）を押す**

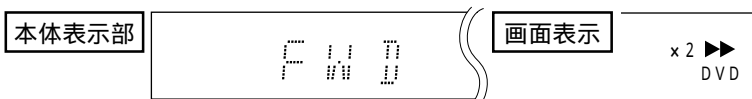
例）（早送り▶▶）を押したとき

- 押すたびに次のように変わります。
  2倍速 → 8倍速 → 32倍速
- （早送り▶▶）で進みます。
  （◀◀早戻し）で戻ります。

2 **サーチを解除するときは（▶ 再生）を押す**

- 通常の再生に戻ります。

■本体でサーチする

1 **再生中に本体の（早送り▶▶）または（◀◀早戻し）を2秒以上押す**

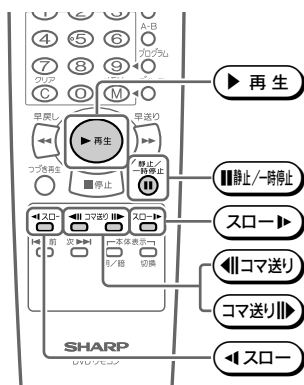
例）（早送り▶▶）を押したとき

- 再度2秒以上押すたびに次のように変わります。
  2倍速 → 8倍速 → 32倍速
- （早送り▶▶）で進みます。
  （◀◀早戻し）で戻ります。

2 **サーチを解除するときは（▶ 再生）を押す**

- 通常の再生に戻ります。

お知らせ

- ディスクによっては、早送り／早戻しが禁止されているものがあります。
- DVDビデオディスクではタイトルをまたぐ早戻しサーチができません。
  タイトルの頭から再生されます。
- DVDビデオディスクやビデオCDは音声と字幕が再生されません。
- ビデオCDと音楽用CDのときは2倍速⇔8倍速の順番でサーチスピードが変わります。

つづく

リモコン

DVD ビデオCD

スローモーションで見る（スロー再生）

1 再生中にリモコンの（スロー▶）または（◀スロー）を押す

本体表示部

SLOW

画面表示

×1／2 ▶
DVD

- （スロー▶）で進みます。（◀スロー）で戻ります。
- 押すたびに次のように再生速度が変わります。
  1/2倍速 → 1/8倍速 → 1/16倍速
- （◀スロー）は1/2倍速↔1/8倍速の順番で再生速度が変わります。

2 スロー再生を解除するときは（▶ 再 生）を押す

- 通常の再生に戻ります。

お知らせ
- ディスクによっては、スロー再生を禁止しているものがあります。
- DVDビデオディスクで戻し方向のスロー再生（逆スロー再生）を行ったときは不連続のコマ戻し再生となります。
- ビデオCD再生時は（◀スロー）戻し方向のスローが働きません。
- 音楽用CDでは働きません。

DVD ビデオCD 音楽用CD

静止画／コマ送りで見る（静止画再生／コマ送り再生）

1 再生中に（Ⅱ静止／一時停止）を押す

- 静止画再生になります。

本体表示部

STILL

画面表示

Ⅱ
DVD

- 静止画再生中に（コマ送りⅡ▶）を押すとコマ送り、（◀Ⅱコマ送り）を押すとコマ戻しされます。

2 静止画再生を解除するときは（▶ 再 生）を押す

- 通常の再生に戻ります。

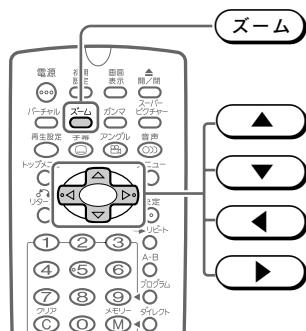
ヒント
音楽用CD再生時は、一時停止になります。

お知らせ
- ディスクによっては、静止画/コマ送り再生を禁止しているものがあります。
- ビデオCD再生時は（◀Ⅱコマ送り）コマ戻し方向のコマ送りが働きません。
- コマ送りは音楽用CDでは働きません。

DVD

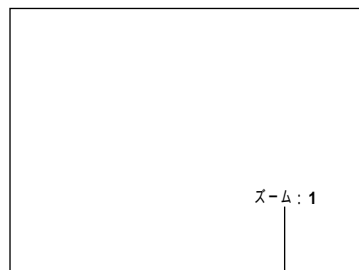
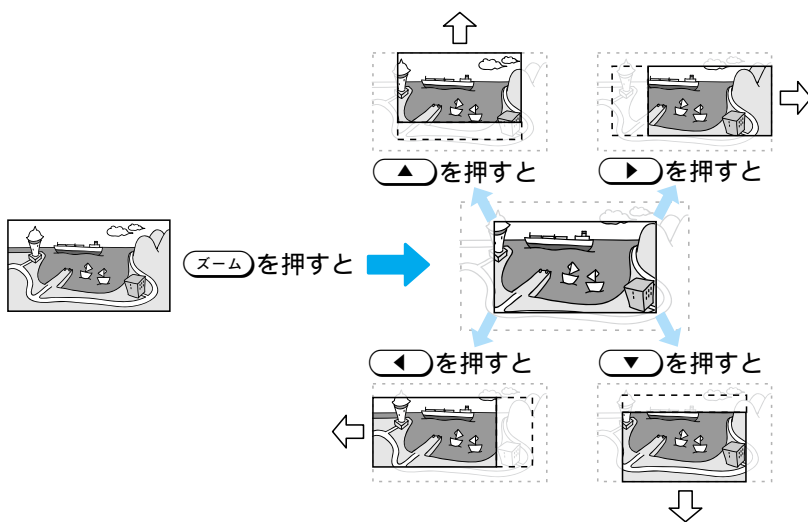
拡大表示させる(ズーム)

DVDの再生中に、好きな箇所を拡大して表示させることができます。

リモコン

再生中に ズーム を押す

- 押すたびに、「ズーム：1(約1.2倍)」⇒「ズーム：2(約1.5倍)」⇒「ズーム：3(約2.0倍)」⇒「解除」の順に切り換わります。
  初期設定のワイドDVD映像出力を 4：3 PS に設定していて、パンスキャンディスクを再生したときは「ズーム1」⇒「ズーム2」⇒「解除」の順に切り換わります。
- ズーム中に ▲ ▼ ◀ ▶ を繰り返し押して、拡大したい部分を移動させることができます。

画面表示

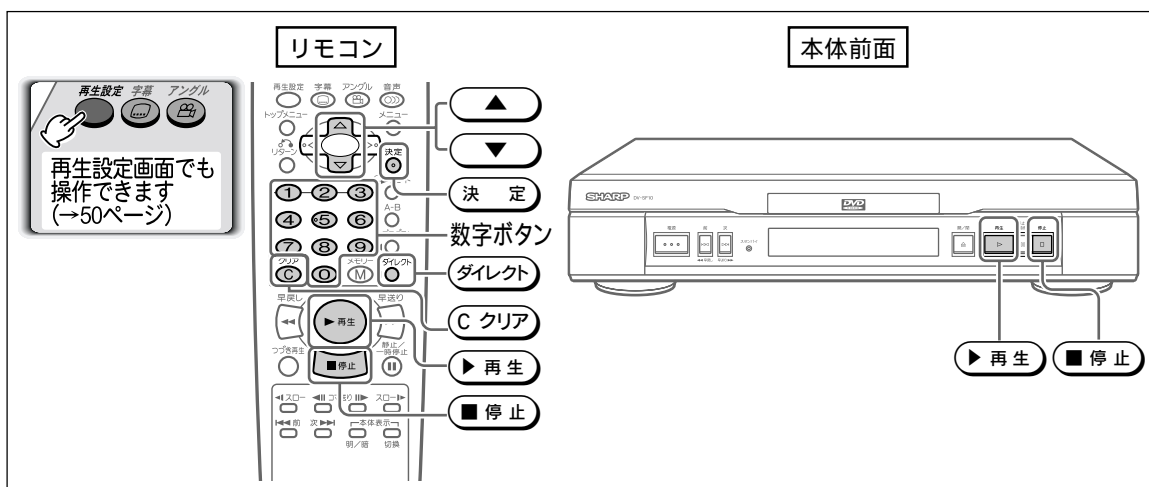
ズーム：1

ズーム入時表示

ヒント

▲ ▼ ◀ ▶ を押したときズーム表示が白から赤色に変わるとそれ以上動かない(ズーム移動が範囲外にある)ことを表わします。

お知らせ

- ズーム切換の際、画面が乱れることがあります。
- 停止、メニュー、トップメニュー、早送り、早戻しボタンを押すとズームモードは解除されます。
- DVDの再生中、▲ ▼ ◀ ▶ を押してシーンを切り換える、などの表示が出る場面では、自動的に再生ズームが解除されます。
- 字幕はズームされません。

ディスクを再生する

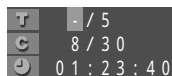
つづく

DVD ビデオCD 音楽用CD

好きなタイトルから再生する(ダイレクト再生)

ビデオCDや音楽用CDのときは手順2から操作します。

1 再生中や再生を停止した後に、リモコンの(ダイレクト)を押す

本体表示部

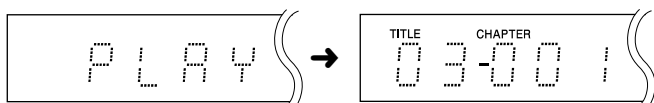
画面表示

- 本体表示部のタイトル番号が点滅します。

2 リモコンの数字ボタンを押し、再生したいタイトルを選ぶ

例)(3)を押したとき

- 選んだタイトル番号が点滅します。

3 (決 定)を押す

- 手順2で数字ボタンを押した後、10秒以内に(決 定)を押してください。

お知らせ

- タイトルが記録されていないDVDビデオディスクではダイレクト再生が働きません。
- DVDビデオディスクによっては、ダイレクト再生が禁止されている部分があります。

ヒント

- ビデオCDや音楽用CDのときは、トラック番号が点滅します。
- 数字を間違えたときは(C クリア)を押し、再度タイトル番号を入れ直してください。
- タイトル番号表示が出ているときに(▲)または(▼)を押してもタイトル番号を選べます。

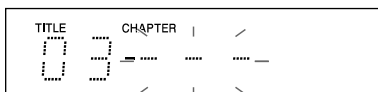
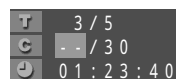
ヒント

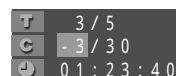
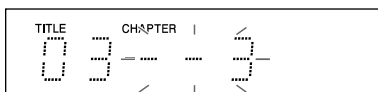
- DVDビデオディスクは選んだタイトルのチャプター1から再生されます。
- ビデオCDや音楽用CDは選んだトラック(曲番)から再生されます。

DVD

好きなチャプターから再生する（ダイレクト再生）

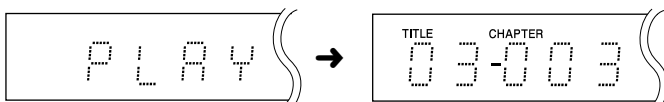
1 **再生中にリモコンの（ダイレクト）を2回押す**

本体表示部

画面表示

2 **リモコンの数字ボタンを押し、再生したいチャプターを選ぶ**

例）（3）を押したとき

- 選んだチャプター番号が点滅します。

3 **（決　定）を押す**

- 手順2で数字ボタンを押した後、10秒以内に（決　定）を押してください。

注意

- ビデオCDや音楽用CDでは働きません。

ヒント

- 数字を間違えたときは（C クリア）を押し、再度チャプター番号を入れ直してください。
- チャプター番号表示が出ているときに（▲）または（▼）を押してもチャプター番号を選べます。

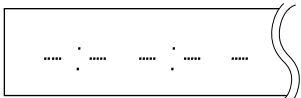
お知らせ

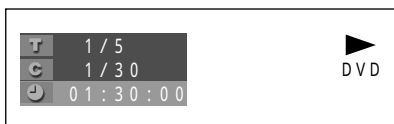
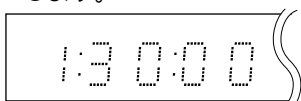
- DVDビデオディスクによっては、チャプター番号を表示しないものがあります。
- DVDビデオディスクによっては、ダイレクト再生が禁止されている部分があります。

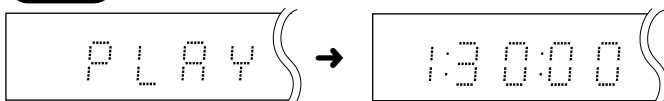
DVD

再生時間を指定して再生する（タイムサーチ）

例：1：30：00から見るとき

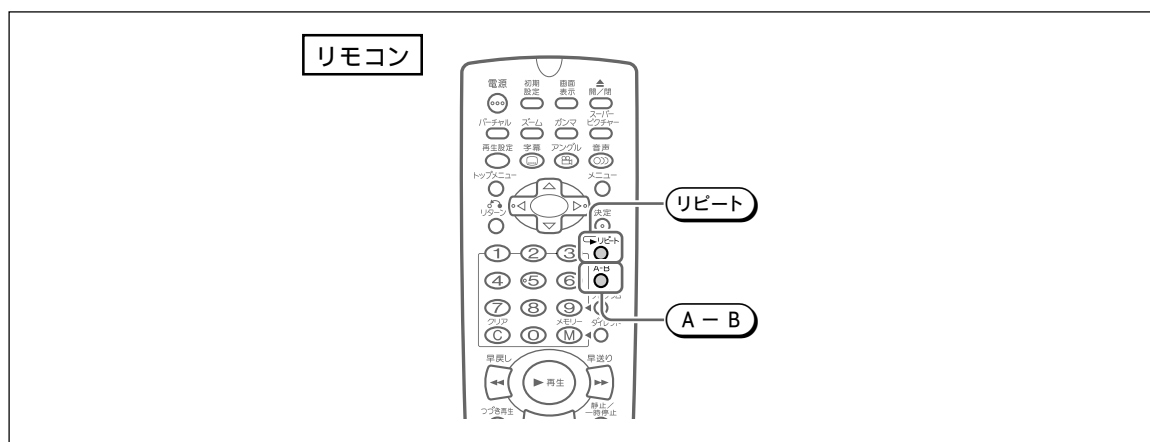
1 **再生中にリモコンの（ダイレクト）を3回押す**

2 **リモコンの数字ボタンを押し再生したい時間を選ぶ**

- 1：30：00から見るときは（1）（3）（0）（0）（0）と押します。

3 **（決　定）を押す**

ヒント

- 数字を間違えたときは（C クリア）を押し、再度時間を入れ直してください。
- （▲）または（▼）を押しても時間、分、秒を設定できます。
- 設定中に（◀）または（▶）を押すと時間、分、秒の切り換えができます。

ディスクを再生する

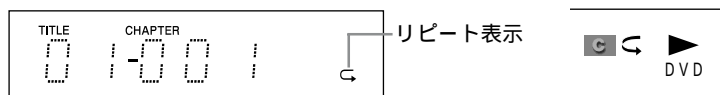
繰り返し再生する（リピート再生）

同じタイトル間やチャプターを繰り返し再生する機能です。

チャプターを繰り返し見る（リピート再生）

例：タイトル1のチャプター1を繰り返し見るとき

1 **繰り返し見たいチャプターを選び再生する**

2 **リピート を押す**

- チャプターが繰り返し再生されます。

- リピート再生を通常再生に戻すときは リピート を押し、本体の「⊂」表示を消します。

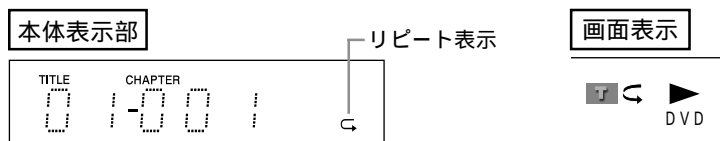
お知らせ
- ディスクによっては、リピート再生が禁止されているものがあります。
- プログラム再生中はリピート再生が働きません。

タイトル間を繰り返し見る（リピート再生）

例：タイトル1を繰り返し見るとき

1 **繰り返し見たいタイトルを選び再生する**

リピート を2回押す

- タイトルが繰り返し再生されます。

本体表示部　　画面表示

- リピート再生を通常再生に戻すときは リピート を押し、本体の「⊂」表示を消します。

お知らせ
- ディスクによっては、リピート再生が禁止されているものがあります。
- プログラム再生中はリピート再生が働きません。

DVD ビデオCD 音楽用CD

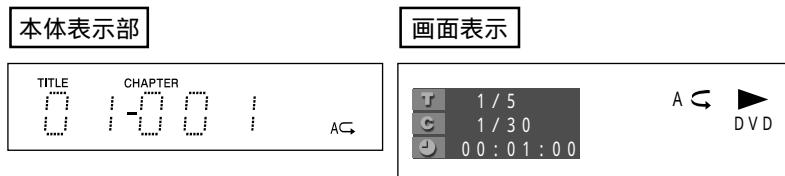
シーンを繰り返し見る(A-B間リピート再生)

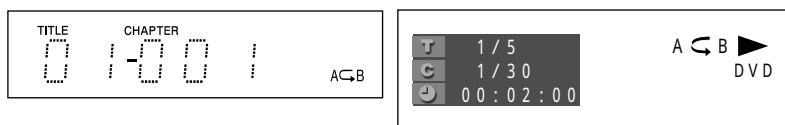
例：タイトル1のチャプター1で、1:00～2:00間を繰り返し見るとき

1 **繰り返し見たいシーンの開始部分でリモコンの(A－B)を押す**

- 開始部分(A)が記憶されます。

本体表示部

画面表示

2 **繰り返し見たいシーンの終了部分でリモコンの(A－B)を押す**

- 終了部分(B)が記憶され「A-B」間が繰り返し再生されます。

- A-B間リピート再生を通常再生に戻すときは(A－B)を押し、本体の「A⊂B」表示を消します。

お知らせ

- A-B間リピート再生は同じチャプターの中で行ってください。
- A-B間リピートはマルチアングル(78ページ)の部分では働きません。

注意

- A-B間リピート再生は停止、トップメニュー、メニューなど他のボタンを押すと解除されます。

ビデオCD 音楽用CD

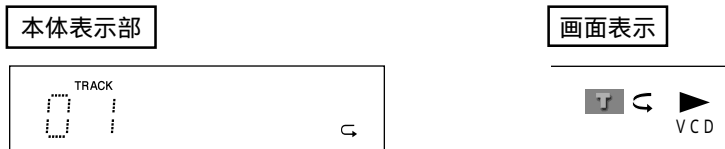
トラック／ディスクを繰り返し再生する(リピート再生)

例：トラックを繰り返し再生するとき

ディスクの再生中に(リピート)を押す

- 再生されているトラック(曲など)が繰り返し再生されます。

本体表示部

画面表示

例：ディスクを繰り返し再生するとき

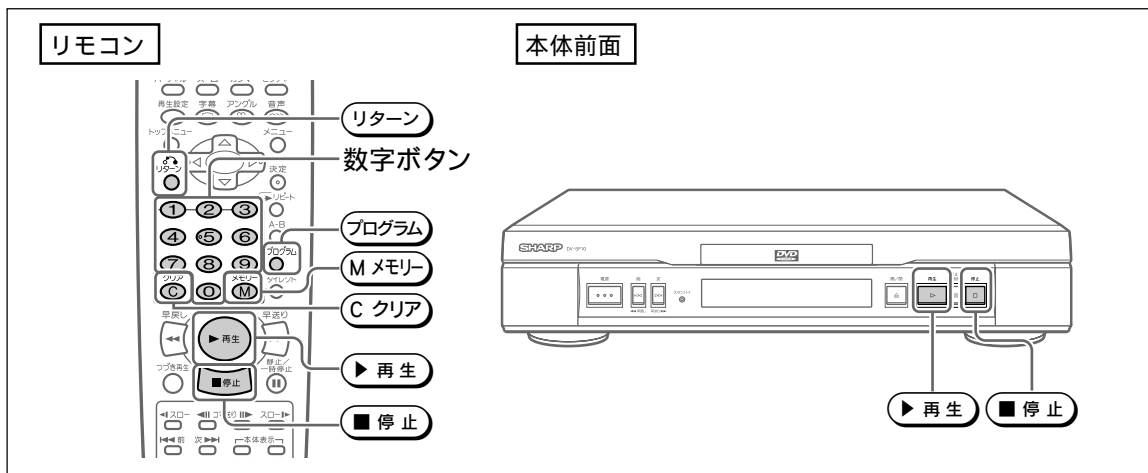
ディスクの再生中に(リピート)を2回押す

- ディスクが繰り返し再生されます。
- リピート再生を通常再生に戻すときは(リピート)を押し、本体の「⊂」表示を消します。

お知らせ

- PBC(プレイバックコントロール)付きビデオCDのPBC再生ではリピート再生が働きません。
- ディスクによっては、リピート再生が禁止されているものがあります。
- プログラム再生中は、リピート再生が働きません。

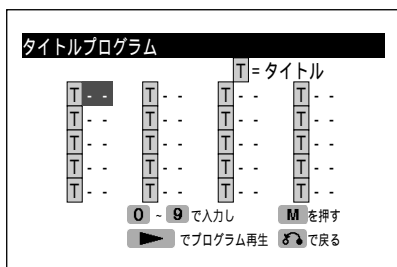
順番を決めて再生する（プログラム再生）

プログラム再生は、見たいタイトルやトラックの順番を決めて再生する機能です。
設定はテレビ画面で行います。

DVD

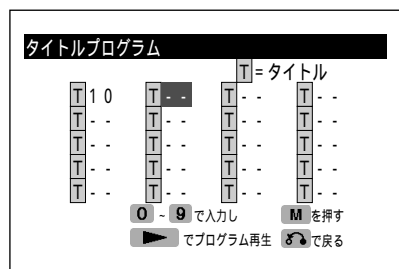
再生するタイトルの順番を設定する

1 電源が「入」で停止状態のときリモコンの（プログラム）を押す

- タイトルプログラム画面が表示されます。

画面表示

- （リターン）を押すと通常画面に戻ります。

2 再生するタイトル番号を数字ボタンで入力し、（M メモリー）で決定する

例）10番目のタイトルを入力するとき（1）（0）と押し、（M メモリー）で決定します。

お知らせ

- 通常再生中はプログラム設定ができません。
- タイトルが記録されていないディスクでは働きません。
- プログラム再生が禁止されているディスクでは働きません。

ヒント

- 最大で20タイトルまで入力できます。
- ディスクにないタイトル番号を入力するとメモリーされませんので、正しいタイトル番号を入力してください。
- 番号を間違えたときは、（C クリア）を押します。
- （C クリア）を約2秒間押すとプログラムがすべて削除されます。
- 手順**2**で1ケタの数字を入力するとき（例：タイトル2を入力するとき）（2）→（M メモリー）で決定します。

3 引き続き別のタイトルをプログラムする

- 手順2を繰り返して設定します。

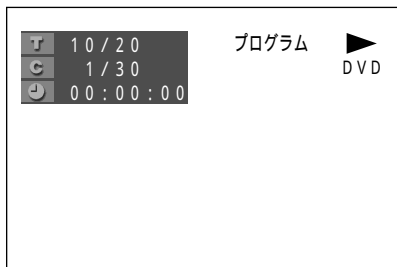
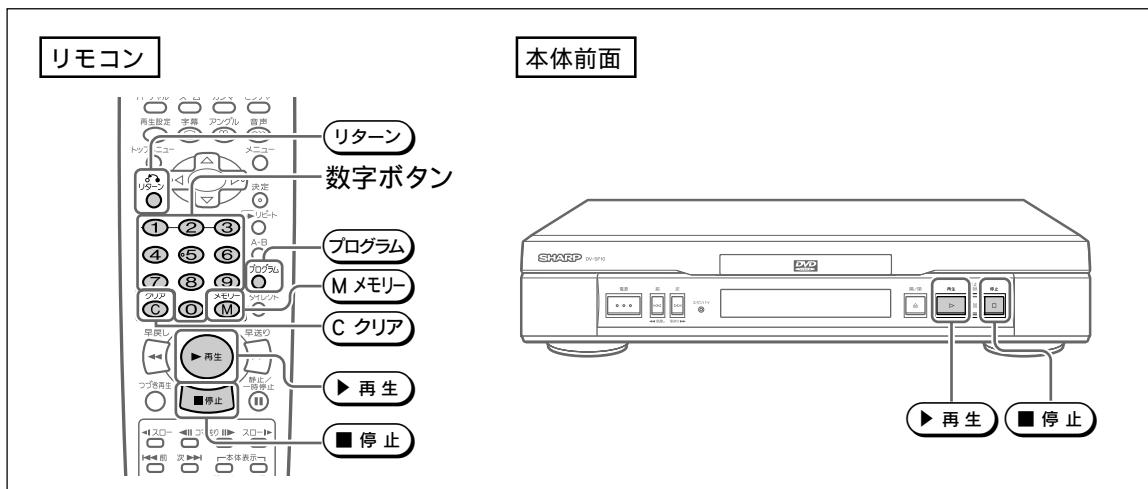
4 ▶ 再生 を押す

- 入力した順番で再生されます。

■プログラム再生を止めるときは…

■ 停止 を押す

ヒント

- 設定を途中で止めるときは リターン を押します。

チャプターが記録されているDVDビデオディスクで、順番を決めて再生することができます。設定はテレビ画面で行います。

DVD

再生するチャプターの順番を設定する

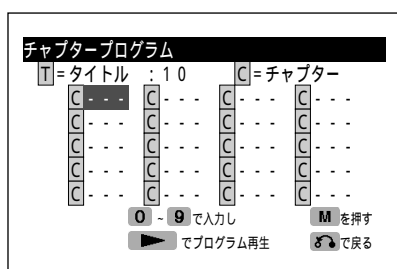
1 電源が「入」で停止状態のときリモコンの(プログラム)を2回続けて押す

- チャプタープログラム画面が表示されます。

画面表示

- (リターン)を押すと、通常画面に戻ります。

2 再生するタイトル番号を数字ボタンで入力し、(M メモリー)で決定する

例)10番目のタイトルを入力するとき(1)(0)と押し、(M メモリー)で決定します。

お知らせ

- 通常再生中はプログラム設定ができません。
- チャプターが記録されていないDVDビデオディスクでは働きません。
- ビデオCDや音楽用CDでは、働きません。
- プログラム再生が禁止されているディスクでは働きません。

ヒント

- ディスクにないタイトル番号を入力するとメモリーされませんので、正しいタイトル番号を入力してください。
- 番号を間違えたときは、(C クリア)を押します。
- (C クリア)を約2秒間押すとプログラムがすべて削除されます。

3 再生するチャプター番号を数字ボタンで入力し、(M メモリー)で決定する

例）23番目のチャプターを入力するとき(2)(3)と押し、(M メモリー)で決定します。

4 引き続き別のチャプターをプログラムする

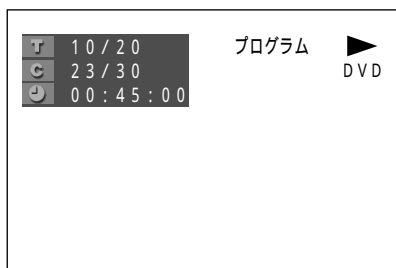
- 手順3を繰り返して設定します。

5 (▶ 再生)を押す

- 入力した順番で再生されます。

■プログラム再生を止めるときは…

(■ 停止)を押す

ヒント

- 設定を途中で止めるときは(リターン)を押します。
- 手順2や手順3で1ケタの数字を入力するとき（例：3番目を入力するとき）(3)→(M メモリー)で決定します。
- 最大で20チャプターまで入力できます。
- ディスクにないチャプター番号を入力するとメモリーされませんので、正しいタイトル番号を入力してください。
- 番号を間違えたときは、(C クリア)を押します。
- (C クリア)を約2秒間押すとプログラムがすべて削除されます。
- 設定を途中で止めるときは(リターン)を押します。
- 手順3で1ケタの数字を入力するとき（例：3番目を入力するとき）(3)→(M メモリー)で決定します。

順番を決めて再生する（プログラム再生）（つづき）

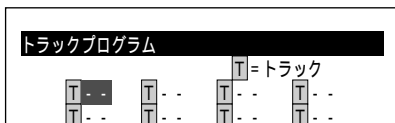
ビデオCD、音楽用CDで、順番を決めて再生することができます。
設定はテレビ画面で行います。

ビデオCD　音楽用CD

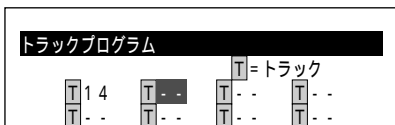
再生するトラックの順番を設定する

1 電源が「入」で停止状態のときリモコンの（プログラム）を押す

- トラックプログラム画面が表示されます。

画面表示

- （リターン）を押すと通常画面に戻ります。

2 再生するトラック番号を数字ボタンで入力し、（M メモリー）で決定する

例）14番目のトラックを入力するとき（1）（4）と押し、（M メモリー）で決定します。

3 引き続き別のトラックをプログラムする

- 手順2を繰り返して設定します。

4 （▶ 再 生）を押す

■プログラム再生を止めるときは…

（■ 停 止）を押す

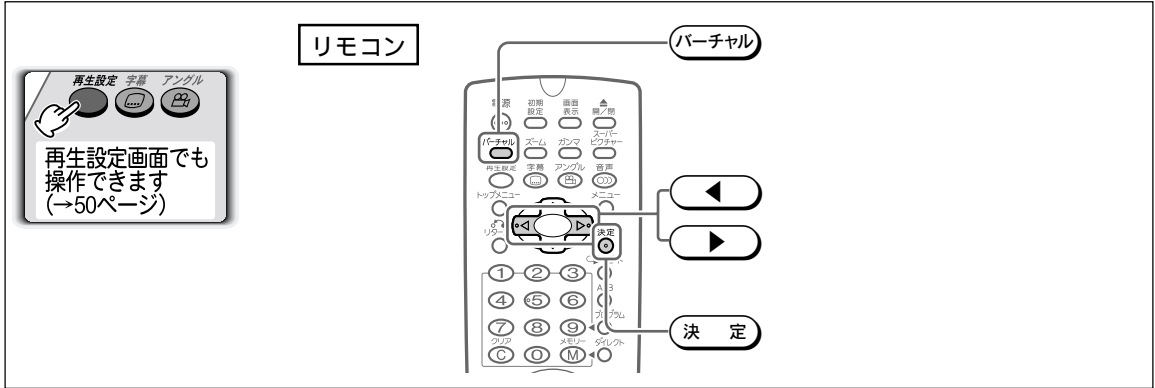
お知らせ

- 通常再生中はプログラム設定ができません。
- プログラム再生が禁止されているディスクでは働きません。

ヒント

- 最大で20トラックまで入力できます。
- 入力のときの操作については、前ページのヒントをご覧ください。
- 手順2で1ケタの数字を入力するとき（例：タイトル2を入力するとき）（2）→（M メモリー）で決定します。
- プログラム再生を止めるときは（■ 停 止）を押します。
- 番号を間違えたときは、（C クリア）を押します。
- （C クリア）を約2秒間押すとプログラムがすべて削除されます。

バーチャルドルビーサラウンドを楽しむ

- 本機は、ステレオタイプ(2ch)のテレビやオーディオ機器で拡がりのある音声が楽しめるバーチャルドルビーサラウンド回路を搭載しております。
- バーチャルドルビーサラウンドは、ドルビーデジタル(5.1ch)音声やドルビーサラウンド(プロロジック)音声が記録されているDVDビデオディスクの再生で楽しめます。
- DVDビデオディスクに記録されている音声は、ディスクの取扱説明書で確認してください。

バーチャルドルビーサラウンドは次のときに働きます

ドルビーデジタル (5.1ch)	ドルビーサラウンド (プロロジック)	リニアPCM音声 DTS音声
○	○	×

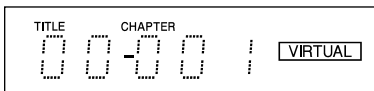
- デジタル接続では働きません。

DVD

バーチャルドルビーサラウンドを「入」にする

1 **DVDビデオディスク再生中に(バーチャル)を押す**

- 押すたびに「入」⇔「切」します。

本体表示部

画面表示

- VIRTUAL (バーチャル)が点灯します。

2 **「入」表示中に(▶)または(◀)でレベル設定する**

- 現在の設定レベルが表示されます。
  10秒後に表示が消えます。また、(決　定)を押しても消すことができます。

お知らせ

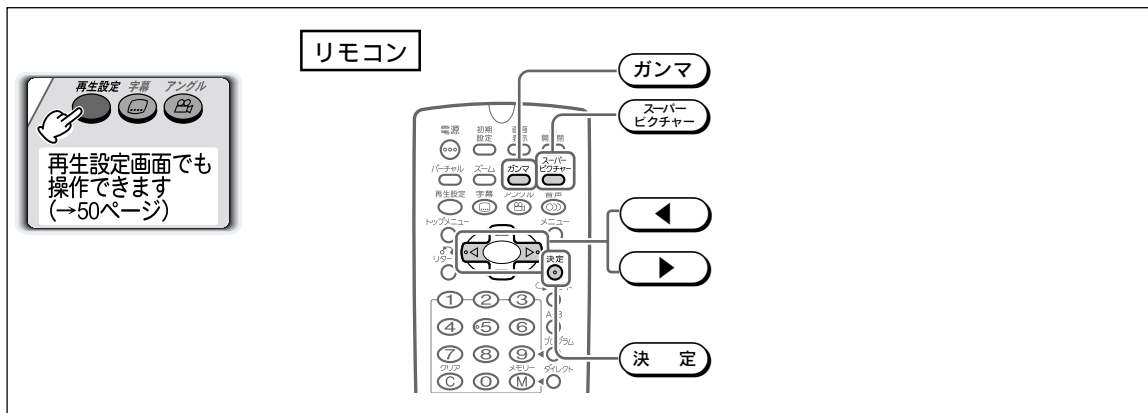
- ビデオCDや音楽用CDでは働きません。
- リニアPCM音声またはDTS音声が再生されているときはバーチャルドルビーサラウンドは働きません。
- DIGITAL出力レベルが「シフト」に設定してあるときはバーチャルドルビーサラウンドが働きません。

ヒント

- 設定レベルは(▶)で効果が強まり、(◀)で弱まります。
- 表示が消えた後、もう一度(バーチャル)を押すと、設定レベルが変更できます。

よりきれいな画像で再生する

暗い部分を見やすくする(デジタルガンマ)

デジタルガンマとは、映像の明るい部分はそのままに、暗くて、見づらい部分を明るく、見やすく補正することにより、DVD本来の高画質を豊かに再現するデジタル高画質機能です。部屋の明るさや再生画像に合わせて3段階の設定が行えます。

DVD　ビデオCD

デジタルガンマを「入」にする

1 **ガンマ を押す**

- 押すたびに「入」⇔「切」の順番で切り換わります。
- 現在の設定状態が表示されます。

画面表示

2 **「入」表示中に ◀ または ▶ でレベル設定する**

- 現在の設定レベルが表示されます。

- 10秒後に表示が消えます。
- 決　定 を押しても消すことができます。

ヒント

- 映画やコンサートなど暗いシーンの多いディスクをご覧になる時や明るい部屋でディスクをご覧になるときに、暗い部分が見やすくなり奥行き感のある再生画像が楽しめます。

ヒント

- 設定レベルは ▶ で明るく、◀ でやや明るくなります。
- 表示が消えた後、設定レベルを変更したいときは ガンマ を押します。設定レベルが表示されますので ◀ または ▶ で変更してください。

くっきりした映像を楽しむ(デジタルスーパーピクチャー)

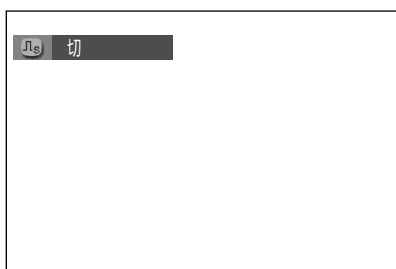
デジタルスーパーピクチャーとは、細かな部分や輪郭を強調しくっきりした画像を再現したり、ノイズを少なくし見やすい画像にするなど、お好みの設定ができるデジタル高画質機能です。

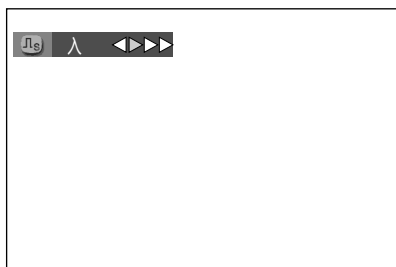
DVD ビデオCD

デジタルスーパーピクチャーを「入」にする

1 (スーパーピクチャー)を押す

- 押すたびに「入」⇔「切」します。
- 現在の設定状態が表示されます。

画面表示

2 「入」表示中に(◀)または(▶)でレベル設定する

- 現在の設定レベルが表示されます。

- 10秒後に表示が消えます。
- (決定)を押しても消すことができます。

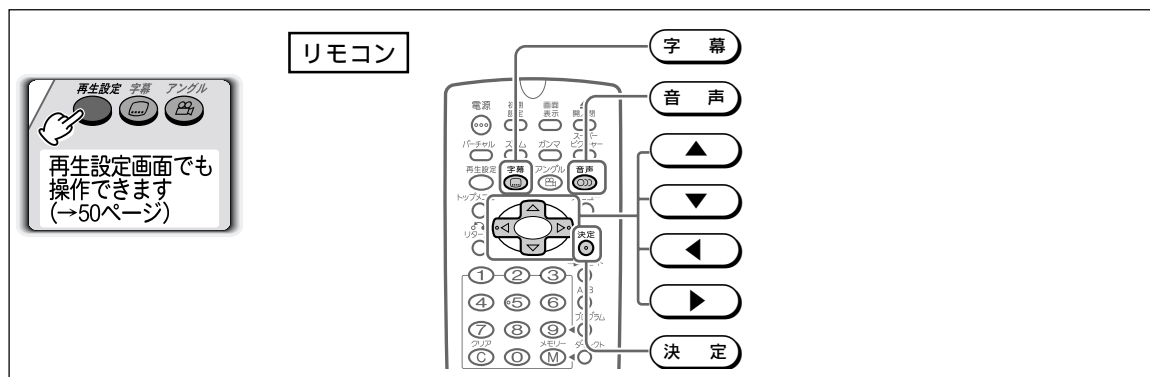
ヒント

- 細かい画像などで、よりくっきりした画像を楽しみたいときは⊕側に設定します。
- 昔の映画など、ノイズの目立つ映像などで、ノイズを少なくし見やすい画像を楽しみたいときは⊖側に設定します。

ヒント

- 設定レベルは(▶)で⊕に(◀)で⊖になります。
- DVDビデオディスクを再生したときは⊕側に、ビデオCDを再生したときは⊖側に設定すると、よりきれいな画像が楽しめます。
- 表示が消えた後、設定レベルを変更したいときは(スーパーピクチャー)を押します。設定レベルが表示されますので(◀)または(▶)で変更してください。

音声(吹き替え音声･マルチ音声･ドルビーデジタル(5.1ch)/DTSやリニアPCM音声)を切り換える

**DVDビデオディスクには複数の吹き替え音声(日本語、英語など)や、ドルビーデジタル(5.1ch)とリニアPCM音声などが記録されているものがあります。
そのようなディスクの音声を切り換えて楽しむことができます。**

DVD

吹き替え音声を切り換える

1 再生中に(音声)を押す

DVDビデオディスクの場合

画面表示

1 DD 5.1ch

ビデオCD/音楽用CDの場合

L+R

• 現在再生されている音声番号が表示されます。

2 音声番号が表示されている間に(音声)を押し、聞きたい音声番号を選ぶ

例)音声番号3を選んだ場合

3 DD 5.1ch

• 選んだ音声番号が表示されます。
• 表示は10秒後に消えます。
　また、(決定)を押しても消すことができます。

■**DTSデジタルサラウンドデコーダーを使い、DTS音声を楽しむとき**

• (音声)を押し、DTS音声を選ぶ

ヒント

• 音声番号表示が出ているときに(▲)または(▼)を押しても音声番号を選べます。

お知らせ

• DTS音声を聞くためには、DTSデジタルサラウンドデコーダーが必要です。(33ページ)
• ディスクによっては、ディスクメニューで音声を切り換えるものがあります。(80ページ)
　音声の切り換えかたは、ディスクの取扱説明書をご覧ください。

ビデオCD　音楽用CD

ビデオCDの音声を切り換えるときは

再生中に(音声)を押す

• 押すたびに、次のように切り換わります。

→ L → R → L+R →

画面表示

L

字幕を切り換える

複数の字幕（日本語、英語、フランス語など）が記録されているDVDビデオディスクの字幕を切り換えて楽しむことができます。

DVD

字幕を切り換える

1 再生中に（字幕）を押す

- 現在再生されている字幕番号が表示され、字幕が出ます。
- 字幕の記録されていないディスクのときは「××」が表示されます。

××

2 （字幕）を押して見たい字幕を選ぶ

- 選んだ字幕番号が表示されます。

例）1　英語を選んだとき

- 表示は10秒後に消えます。
- （決定）を押しても消すことができます。

ヒント
- 字幕番号表示が出ているときに（▲）または（▼）を押しても字幕番号を選べます。

DVD

字幕を消したいとき

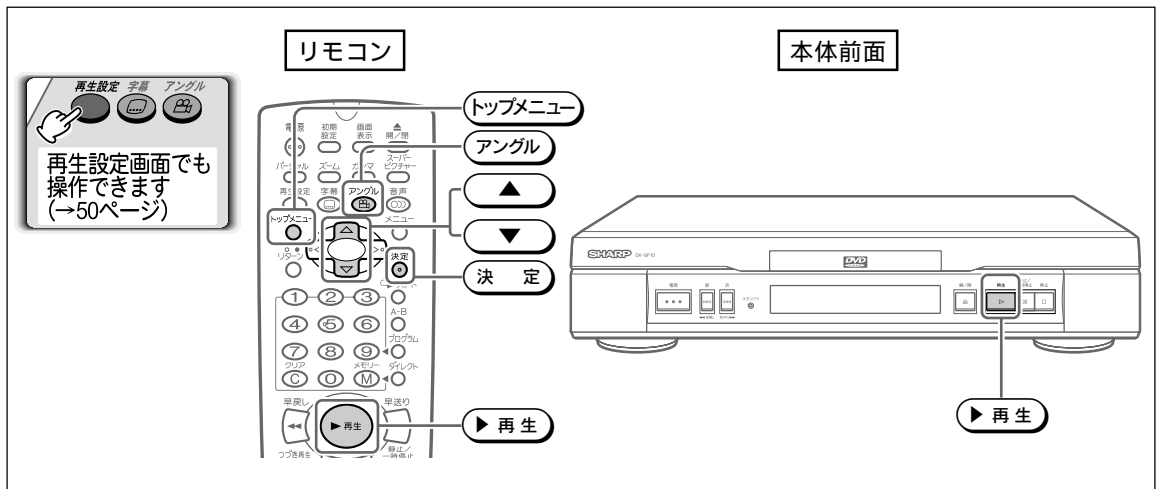
上の手順2のときに（▶）または（◀）を押して「切」を選ぶ

- 表示は10秒後に消えます。
- （決定）を押しても消すことができます。

ヒント
- （字幕）または（▲）（▼）を押しても「切」を選べます。

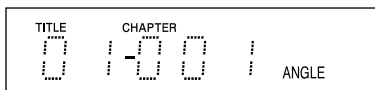
ディスクを再生する

アングルを切り換える

DVDビデオディスクには複数のアングル(前方から撮影した映像や、後方から撮影した映像など)が記録されているディスクがあります。
そのようなディスクはアングルを切り換えて楽しむことができます。(マルチアングル)

DVD

アングルを切り換える

1 再生中に（アングル）を押す

本体表示部

画面表示

- 現在再生されているアングル番号が表示されます。

2 アングル番号が表示されている間に（アングル）を押し、見たいアングル番号を選ぶ

例)アングル3を選んだとき

- 選んだアングル番号が表示されます。
- 表示は10秒後に消えます。
- （決 定）を押しても消すことができます。

お知らせ

- アングルが1つしか記録されていないディスクでは、アングル番号が表示されません。

ヒント

- アングルのあるシーンでは、本体表示部に「ANGLE(アングル)」が点灯します。

ヒント

- アングル番号表示が出ているときに（▲）または（▼）を押してもアングル番号を選べます。ディスクによっては操作が異なりますので、ディスクの説明書をご覧ください。

トップメニューからタイトルを選び再生する

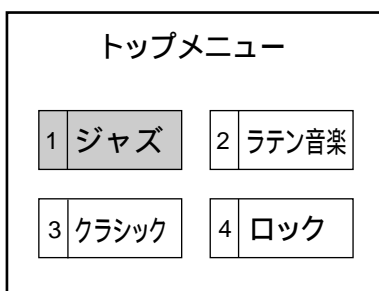
DVDビデオディスクにはトップメニューが記録されているディスクがあります。
そのようなディスクのトップメニューからタイトルを選び再生することができます。

DVD

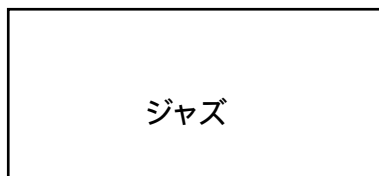
例） タイトルを選び再生する

1 トップメニュー を押す

- トップメニュー画面が表示されます。

画面表示

2 ▲ または ▼ を押して、タイトルを選ぶ

3 決定 または ▶再生 を押す

- 選んだタイトルが再生されます。

ジャズ

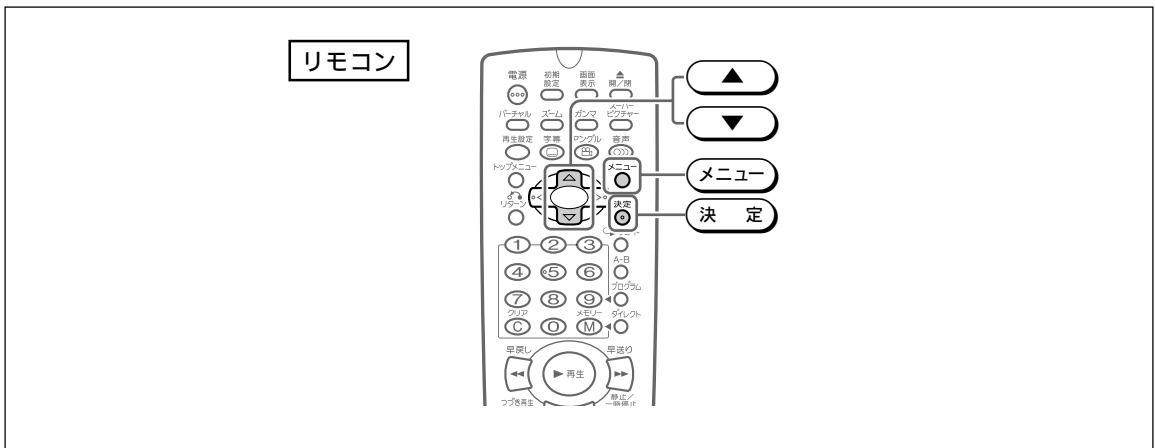
お知らせ

- 左記の手順は、基本的な操作手順です。
  DVDビデオディスクによっては、手順が異なりますので、DVDビデオディスクの取扱説明書や画面に表示される手順に従って操作してください。
  DVDビデオディスクによってはトップメニューを「タイトル」という名称で説明しているものがあります。「タイトルキー」と説明しているボタンは本機の トップメニュー で操作してください。
- トップメニューが記録されていないときは、トップメニューボタンを押してもトップメニューは表示されません。

ヒント

- リモコンの数字ボタンを押してもタイトルを選べます。

ディスクメニューを使って再生条件を設定する

DVDビデオディスクにはディスクメニューの記録されているディスクがあります。
そのようなディスクはディスクメニューから字幕や音声の言語や、ドルビーデジタル(5.1ch)/DTS音声を選び再生したり、ディスクガイドを表示させたりすることができます。

例）　ディスクメニューで字幕を設定し再生するとき

1 （メニュー）を押す

画面表示

• ディスクメニュー画面が表示されます。

2 （▲）または（▼）を押してディスクメニューから字幕の項目を選ぶ

例）字幕を選んだとき

3 （決　定）を押す

• ディスクメニュー画面が表示されます。

4 （▲）または（▼）を押して字幕の言語を選ぶ

例）英語を選んだとき

5 （決　定）を押す

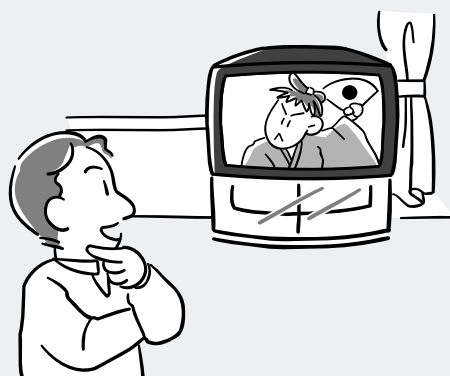
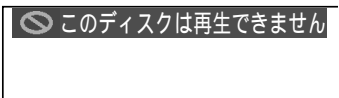
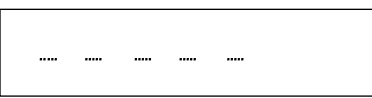
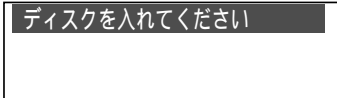
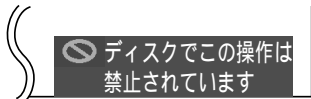
• 設定した字幕の言語で再生されます。

他にも設定したい項目があるときは手順1から5を繰り返し設定する

お知らせ

• 左記の手順は、基本的な操作手順です。
DVDビデオディスクによっては手順が異なりますので、DVDビデオディスクの取扱説明書や、画面に表示される手順に従って操作してください。

困ったときは

ページ

故障かな？と思ったら

次のような現象は故障でない場合がありますので、修理サービスをお申し付けになる前に次のことをお確かめください。

こんなとき	ここをお確かめください	参照ページ
電源が入らない	• 電源コードがはずれていませんか。	19・27
	• 電源プラグがコンセントからはずれていませんか。	
	• 各種安全装置が働いていることがあります。このときは、一度電源プラグをコンセントから抜き、再びコンセントに差し込んで電源を入れてください。	
電源が入っているのに動かない	• DVD（リージョン番号2、ALL）、ビデオCD、音楽用CD以外のものが入っていませんか。	12・13
再生画像が出ない（音声が出ない） 本体表示部に、 「ー ー ー ー ー」の表示が出て再生できない	• 映像・音声コードが正しく接続されていますか。	30～33
	• DVD（リージョン番号2、ALL）、ビデオCD、音楽用CD以外のものが入っていませんか。	12・13
	• ディスクが汚れていませんか。ディスクに傷がありませんか。	14
	• ディスクの表裏を間違えていませんか。	22
	• ピックアップレンズが汚れています。ピックアップレンズのクリーニングは販売店にご相談ください。	14
	• テレビの入力切り換えが「ビデオ（外部）」になっていますか。	30
	• オーディオ機器の電源は入っていますか。	—
MD（ミニディスク）で録音ができない	• 音声切り換えでリニアPCM音声にしましたか。	76
MDとデジタル接続しCDを録音したときに、CDの曲番（トラック番号）とMDに記録された曲番（トラック番号）が一致しない	• ディスクにより曲間の無音期間が短い場合、曲が連続で記録されることがあり、トラック番号が実際に記録された曲数と合わない場合があります。 • CDをプログラム再生した場合や、ダイレクト再生した場合などにも、MDに記録された曲数と合わないことがあります。	—
ドルビーデジタル（5.1ch）の音声にならない	• 音声切り換えでドルビーデジタル音声にしましたか。	76
リモコンで操作できない	• 電池が正しく入っていますか。消耗していませんか。	18・34
	• リモコンの発信部を本体に向けていますか。	
	• リモコンと本体の距離が離れすぎていませんか。また、本体の前に障害物はありませんか。	
絵や音が乱れる	• 汚れや傷のついたディスクを再生していませんか。	14・22
	• スピーカーなどから振動が伝わっていませんか。	—
音声が出ない	• DTS音声を選んでいませんか。本機はDTS音声が記録されているディスクを再生したとき、DTS音声を選んでも正常な音声が出ません。他の音声を選んでお楽しみください。	76
音声がおかしく聞こえる	• □□DIGITAL出力レベルを「ノーマル」に設定してお楽しみください。	44
バーチャルドルビーサラウンドが働かない	• □□DIGITAL出力レベルを「ノーマル」に設定してお楽しみください。	44

• 本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより、正常に動作しないことがあります。そのようなときは一度電源を「切」にし、再度電源を入れ直してください。

エラーメッセージについて

再生しようとしたディスクが正しくなかったり、操作を誤ったときは、本体表示部とテレビ画面に次のような表示がでます。

テレビ画面表示	本体表示	エラーの内容
このディスクは再生できません	....	• 本機で再生できないディスクを入れたり表裏逆に入れたとき。
地域番号が違います	....	• リージョン番号が「2」「ALL」以外のDVDビデオディスクを入れたとき。
ディスクを入れてください	....	• ディスクトレイにディスクが入っていないとき。
この操作はできません		• 誤った操作をしたとき。
ディスクでこの操作は禁止されています		• この取扱説明書に記載されている操作を、ディスク側で禁止しているとき。

保証とアフターサービス よくお読みください

保証書（別添）

- 保証書は「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ販売店から受け取ってください。
- 保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

- 保証期間
  お買いあげの日から1年間です。
  保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の最低保有期間

- 当社は、DVDビデオプレーヤーの補修用性能部品を製造打切後、最低8年保有しております。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

- 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口（86〜87ページ）にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは 出張修理

- 「故障かな?と思ったら」（82ページ）を調べてください。それでも異常があるときは使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

ご連絡していただきたい内容

品　　　名：DVDビデオプレーヤー
形　　　名：DV-SF10
お買いあげ日：（年月日）
故障の状況：(できるだけ具体的に)
ご　住　所：(付近の目印も合わせてお知らせください。)
お　名　前：
電話番号：
ご訪問希望日：

ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。

便利メモ　お客様へ…
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販　売　店　名
年　月　日	電話(　　　)　　◇

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

愛情点検

長年ご使用のDVDビデオプレーヤーの点検を！
こんな症状はありませんか？
- 電源コードやプラグが異常に熱い。
- 映像が乱れたり、きれいに映らない。
- その他の異常や故障がある。

以上のような症状のときは、スイッチを切り、プラグをコンセントから抜いて使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご依頼ください。 なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

仕様

品名		DVDビデオプレーヤー
形名		DV-SF10
信号方式		NTSC方式準拠
再生可能ディスク		DVD（リージョン番号「2」・「ALL」）、ビデオCD、音楽用CD
ビデオ出力		出力端子：ピンジャック×1系統 出力レベル：1Vp-p （75Ω）
S映像出力		Y出力レベル：1Vp-p （75Ω） C出力レベル：0.286Vp-p （75Ω） 出力端子：S端子×1系統
コンポーネント映像出力		Y出力レベル ：1Vp-p （75Ω） C_B出力レベル：0.7Vp-p （75Ω）/カラー100% C_R出力レベル：0.7Vp-p （75Ω）/カラー100% 出力端子：ピンジャック×1系統
オーディオ音声出力		出力端子：ピンジャック×1系統(L、R) 出力レベル：2Vrms(1kHz、0dB)
デジタルオーディオIF音声出力		同軸デジタル出力：ピンジャック
ビデオ信号	水平解像度	500本
	S/N比	60dB以上
オーディオ信号	周波数特性	DVDリニアPCM再生時：4Hz～22kHz (48kHzサンプリング) 4Hz～44kHz (96kHzサンプリング) CD再生時：4Hz～20kHz (EIAJ)
	S/N比	CD再生時：94dB 1kHz (EIAJ)
	ダイナミックレンジ	DVDリニアPCM：94dB (EIAJ) CD：94dB (EIAJ)
	全高調波歪み率	CD：0.006%以下 (EIAJ)
電源		AC100V 50/60Hz
消費電力		13W（待機時消費電力 0.5W）
外形寸法		幅430mm×奥行252mm×高さ90.5mm（ACコード含まず）
質量		2.7kg
使用温度範囲		5℃～40℃
使用湿度範囲		動作湿度80%RH以下

仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

海外では使用できません

このDVDビデオプレーヤーを使用できるのは日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
〈This DVD video player is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.〉

お客様ご相談窓口のご案内

シャープ製品の修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買いあげの販売店へ

なお、転居されたり、贈答品などで保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記の窓口にご相談ください。

● 製品の故障や部品のご購入などのご相談は………… 修理ご相談窓口 へ

（注）＊印の窓口は『持ち込み修理及び部品購入』のご相談窓口です。
なお、この地域の出張修理はCSセンターにご相談ください。

● 製品に対するご意見・ご要望などは…………………… 一般ご相談窓口 へ

修理ご相談窓口

シャープエンジニアリング株式会社

担当地域	拠点名	電話番号	所在地
北海道	CSセンター	(011) 641-4690	
	＊札 幌	(011) 641-4685	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
	北 見	(0157) 36-4649	北見市三輪435
	帯 広	(0155) 21-6925	帯広市西8条南3-17
	苫小牧	(0144) 34-7740	苫小牧市本町2-6-10
	室 蘭	(0143) 45-4649	室蘭市中島町1-9
	釧 路	(0154) 25-4649	釧路市光陽町8-13
	旭 川	(0166) 25-4649	旭川市一条通4-左10
	函 館	(0138) 51-4649	函館市五稜郭町31-17
青森県	青 森	(0177) 38-0281	青森市妙見3-3-4
	弘 前	(0172) 27-4649	弘前市豊田3-5-1
	八 戸	(0178) 44-4649	八戸市小中野2-8-16
秋田県	秋 田	(018) 863-4649	秋田市川尻町大川反170-56
	横 手	(0182) 33-4649	横手市横手町六の口5
岩手県	岩 手	(019) 638-6087	紫波郡矢巾町流通センター南3-1-1
	釜 石	(0193) 23-4649	釜石市上中島町4-6-43
宮城県	CSセンター	(022) 288-9250	
	＊宮 城	(022) 288-9142	仙台市若林区卸町東3-1-27
	＊古 川	(0229) 22-6840	古川市古川青塚114
山形県	山 形	(023) 631-4649	山形市飯田2-7-43
	酒 田	(0234) 24-4649	酒田市大町19-5
福島県	福 島	(024) 945-4649	郡山市安積町荒井方八丁33-1
	会津若松	(0242) 25-4649	会津若松市山見町41-2
	いわき	(0246) 28-4649	いわき市自由ケ丘37-10
新潟県	CSセンター	(025) 285-1513	
	＊新 潟	(025) 285-3663	新潟市上所中1-7-21
	＊長 岡	(0258) 23-1819	長岡市摂田屋町崩2600
栃木県	CSセンター	(03) 5692-7722	
	＊栃 木	(028) 637-1179	宇都宮市不動前4-2-41
	＊小 山	(0282) 62-5466	下都賀郡藤岡町藤岡5201
群馬県	CSセンター	(03) 5692-7722	
	＊群 馬	(027) 252-4706	前橋市問屋町1-3-7
茨城県	CSセンター	(03) 5692-7722	
	＊茨 城	(029) 241-4930	水戸市千波町1963
	＊南茨城	(0298) 57-9130	つくば市栗原2857-9
埼玉県	CSセンター	(03) 5692-7722	
	＊埼玉中央	(048) 666-7987	大宮市宮原町2-107-2
	＊埼玉東	(0489) 78-7101	越谷市南荻島346-1
	＊埼玉北	(0485) 33-5643	深谷市東方3308-1
	＊埼玉西	(048) 481-7531	新座市野火止1-13-20
千葉県	CSセンター	(03) 5692-7722	
	＊千 葉	(043) 299-8840	千葉市美浜区中瀬1-9-2
	＊西千葉	(0473) 68-4766	松戸市稔台295-1
	＊東千葉	(0479) 79-1181	八日市場市高字東2779-4
	＊木更津	(0438) 37-7912	木更津市請西2-5-22
東京都	CSセンター	(03) 5692-7722	
	＊江 東	(03) 3626-4642	東京都墨田区石原2-12-3
東京都	＊城 南	(03) 3776-2419	東京都大田区南馬込1-5-15
	＊城 北	(03) 3972-4195	東京都板橋区東新町1-33-11
	＊世田谷	(03) 3707-3345	東京都世田谷区用賀3-8-18
	＊田 端	(03) 5692-7765	東京都北区東田端2-13-17
	＊三多摩	(042) 586-6059	日野市日野台5-5-4
神奈川県	CSセンター	(03) 5692-7722	
	＊横 浜	(045) 753-4647	横浜市磯子区中原1-2-23
	＊湘 南	(0463) 54-4738	平塚市田村1381
	＊相模原	(0427) 59-4195	相模原市横山2-2-12
山梨県	CSセンター	(03) 5692-7722	
	＊山 梨	(055) 228-5375	甲府市富竹2-1-17
静岡県	CSセンター	(054) 285-9360	
	＊静 岡	(054) 285-9340	静岡市曲金6-8-44
	＊沼 津	(0559) 22-5249	沼津市宮前町11-4
	＊浜 松	(053) 463-4680	浜松市植松町1476-2
長野県	CSセンター	(026) 293-6612	
	＊松 本	(0263) 27-4694	松本市芳野8-14
	＊長 野	(026) 293-6262	長野市篠ノ井塩崎東田沢6877-1
愛知県	CSセンター	(052) 332-5880	
	＊名古屋	(052) 332-2623	名古屋市中川区山王3-5-5
	＊岡 崎	(0564) 24-2343	岡崎市柿田町1-21
	＊豊 橋	(0532) 53-4647	豊橋市下地町橋口17-1
岐阜県	CSセンター	(052) 332-5880	
	＊岐 阜	(058) 273-4969	岐阜市六条南3-12-9
	＊濃 飛	(0574) 26-4626	可児市土田下切3832-1
三重県	CSセンター	(052) 332-5880	
	＊三 重	(059) 232-6300	津市栗真町屋町蒲池328
富山県	CSセンター	(076) 269-1875	
	＊富 山	(076) 451-2459	富山市金泉寺71-1
	＊高 岡	(0766) 21-2459	高岡市野村653-1
石川県	CSセンター	(076) 269-1875	
	＊金 沢	(076) 249-2434	石川郡野々市町御経塚町1096-1
福井県	CSセンター	(076) 269-1875	
	＊福 井	(0776) 54-2459	福井市北四ツ居町625
滋賀県	CSセンター	(06) 6795-2899	
	＊滋 賀	(0775) 45-4692	大津市栗林町11-35
	＊彦 根	(0749) 24-4643	彦根市東沼波町133
京都府	CSセンター	(06) 6795-2899	
	＊京 都	(075)672-2378	京都市南区上鳥羽菅田町48
	＊北近畿	(0773)23-9151	福知山市末広町6-13
大阪府	CSセンター	(06) 6795-2800	
	＊大 阪	(06) 6643-5331	大阪市浪速区恵美須西1-2-9
	＊ 堺	(0722) 45-4651	堺市老松町1-39
	＊大阪TC	(06) 6794-5611	大阪市平野区加美南3-7-19
	＊南大阪	(0724) 31-1950	貝塚市沢1215
	＊北大阪	(0726) 34-4519	茨木市鮎川5-15-3
(兵庫県)	＊阪 神	(06) 6421-4877	尼崎市猪名寺3-2-10

修理ご相談窓口

担当地域	拠点名	電話番号	所在地
兵庫県	CSセンター	(06)6795-2899	
	＊兵　庫	(078) 791-1541	神戸市須磨区弥栄台3-15-2
	＊神　戸	(078) 453-4651	神戸市東灘区魚崎北町1-6-18
	＊姫　路	(0792) 66-1819	姫路市青山5-7-7
	＊豊　岡	(0796) 23-7515	豊岡市九日市上町下畑77-1
奈良県	CSセンター	(06)6795-2899	
	＊奈　良	(0743) 53-6693	大和郡山市美濃庄町492
	＊奈良南	(0745) 65-1492	御所市茅原4-3
和歌山県	CSセンター	(06)6795-2899	
	＊和歌山	(073) 445-4615	和歌山市西小二里2-4-91
	＊南　紀	(0739) 25-3121	田辺市稲成町441-1
鳥取県	鳥　取	(0857) 27-8831	鳥取市青葉町2-204
岡山県	CSセンター	(086) 292-1707	
	＊岡　山	(086) 292-1709	都窪郡早島町矢尾828
島根県	CSセンター	(0852) 24-4811	
	＊松　江	(0852) 24-4810	松江市西津田3-1-10
	浜　田	(0855) 23-4649	浜田市黒川町210-1
広島県	CSセンター	(082) 874-8071	
	＊広　島	(082) 874-8149	広島市安佐南区西原2-13-4
	CSセンター	(0824) 28-7448	
	＊東広島	(0824) 28-7490	東広島市八本松東4-3-30
	CSセンター	(0849) 51-7644	
	＊福　山	(0849) 51-7654	福山市津之郷町津之郷上開地
山口県	CSセンター	(083) 972-0870	
	＊山　口	(083) 972-0891	吉敷郡小郡町若草町4-12
	＊東山口	(0833) 44-0923	下松市西豊井173-1
香川県	CSセンター	(087) 823-5513	
	＊香　川	(087) 823-4901	高松市朝日町6-2-8

担当地域	拠点名	電話番号	所在地
徳島県	CSセンター	(088) 625-4684	
	＊徳　島	(088) 625-4654	徳島市中常三島町3-11-14
愛媛県	CSセンター	(089) 971-4729	
	＊愛　媛	(089) 971-4563	松山市高岡町178-1
	＊東　予	(0897) 36-0845	新居浜市八幡1-15-29
	＊南　予	(0895) 25-4722	宇和島市中沢町1-1-20
高知県	CSセンター	(0888) 82-4021	
	＊高　知	(0888) 82-4635	高知市高須960-1
福岡県	CSセンター	(092) 586-1122	
	＊福　岡	(092) 572-4652	福岡市博多区井相田2-12-1
	＊南福岡	(0942) 45-8211	久留米市御井旗崎3-7-14
	＊北九州	(093) 592-4677	北九州市小倉北区大手町6-12
佐賀県	CSセンター	(092) 586-1122	
	＊佐　賀	(0952) 24-9450	佐賀市鍋島町八戸五本松籠2043-2
長崎県	CSセンター	(095) 844-1870	
	＊長　崎	(0957) 52-3511	大村市古賀島町613-3
	佐世保	(0956) 32-6666	佐世保市白岳町107-5
大分県	CSセンター	(097) 536-5548	
	＊大　分	(097) 552-2313	大分市松原町3-5-3
熊本県	CSセンター	(096) 366-7070	
	＊熊　本	(096) 364-4777	熊本市新屋敷3-15-17
	天　草	(0969) 23-8711	本渡市港町19-3
宮崎県	CSセンター	(0985) 31-1823	
	＊宮　崎	(0985) 31-1832	宮崎市原町4-12
	延　岡	(0982) 34-5735	延岡市浜砂2-17-10
	＊都　城	(0986) 52-1311	北諸県郡三股町大字蓼池624-1
鹿児島県	CSセンター	(099) 253-0250	
	＊鹿児島	(099) 253-4600	鹿児島市鴨池新町12-1

沖縄シャープ電機株式会社

担当地域	拠点名	電話番号	所在地	担当地域	拠点名	電話番号	所在地
沖縄県	那　覇	(098) 861-0866	那覇市曙2-10-1	沖縄県	先　島	(09807) 3-3603	平良市下里1178-5
	北　部	(0980) 53-0068	名護市宮里450-5	鹿児島県	奄　美	(0997) 53-4777	名瀬市塩浜町8-1

一般ご相談窓口

シャープ株式会社

東日本相談室	TEL(043)297-4649	FAX(043)299-8280	〒261-8520　千葉市美浜区中瀬1-9-2
西日本相談室	TEL(06)6621-4649	FAX(06)6792-5993	〒547-0003　大阪市平野区加美南4-3-41

シャープエンジニアリング株式会社

北海道支店消費者相談室	(011) 642-4649	〒063-0801　札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北支店消費者相談室	(022) 288-9147	〒984-0002　仙台市若林区卸町東3-1-27
首都圏支店消費者相談室	(03) 3893-4649	〒114-0013　東京都北区東田端2-13-17
中部支店消費者相談室	(052) 332-4649	〒454-8721　名古屋市中川区山王3-5-5
近畿支店消費者相談室	(06) 6794-7041	〒547-8510　大阪市平野区加美南3-7-19
中国支店消費者相談室	(082) 874-4649	〒731-0113　広島市安佐南区西原2-13-4
四国支店消費者相談室	(087) 823-4901	〒760-0065　高松市朝日町6-2-8
九州支店消費者相談室	(092) 572-4655	〒816-0081　福岡市博多区井相田2-12-1

所在地・電話番号などは変わることがありますので、その節はご容赦願います。(00.01)

用語の解説

用語	説明
DTS	デジタルシアターシステムズ社が開発した、劇場向けデジタル音声システムのことです。音声6chを使って、正確な音場定位とリアルな音響効果が得られます。DTS対応プロセッサやアンプとの接続で映画館のような音声が楽しめます。
コンポーネント映像出力	DVD用のコンポーネント映像(色差)入力端子付きのテレビやモニターと接続することにより、よりきれいな画像が楽しめる映像出力端子のことです。
再生設定	DVDビデオディスクの再生で字幕言語やデジタルガンマなど、お好みの条件を設定できる機能です。アイコンを使った画面表示を見ながら簡単に設定することができます。
視聴制限(パレンタルレベル)	DVDビデオディスクの中には、視聴者の年齢に合わせて、ディスクを見るための規制レベルが設定されているものがあります。そのようなディスクを再生したときの規制レベルを本機は設定することができます。
初期設定	本機でディスクを再生して楽しむための、映像出力設定や視聴制限(パレンタルレベル)などを設定します。
ズーム	テレビ画面で見ている映像の一部を、拡大表示する機能です。
タイトル	DVDビデオディスクに複数の映画が入っているときなど、各映画の題名(タイトル)などをいいます。
チャプター	タイトルの中にある章をチャプターといいます。
ディスクメニュー	DVDビデオディスクに記録されているメニューで、字幕の言語や吹き替え音声などを選ぶことができます。
デジタルガンマ	暗部の階調を補正し、暗いシーンでも見やすくする機能です。
デジタルスーパーピクチャー	細部までくっきりと再現する機能です。
トップメニュー	DVDビデオディスクで、再生するチャプターや字幕の言語などを選ぶメニューのことです。DVDビデオディスクによっては、トップメニューのことを「タイトル」と呼んでいるものもあります。
トラック	音楽用CDなどの各曲をトラックといいます。
ドルビーデジタル(5.1ch)/ドルビーサラウンド(プロロジック)	ドルビー社が開発した立体音響効果のことをいいます。ドルビーデジタル(5.1ch)対応プロセッサやアンプとの接続で映画館のような音声が楽しめます。
ドルビーデジタル出力レベル設定	DVDビデオディスクの再生で、ドルビーデジタル音声の平均音声を上げるかどうかを設定する機能です。
バーチャルドルビーサラウンド	ドルビーデジタル(5.1ch)やドルビーサラウンド(プロロジック)の音声を2chの音声にダウンミックスし、拡がりのある音声が楽しめるサラウンド機能です。
4：3 PS パンスキャン	4：3のテレビと本機を接続しワイド(16：9)ソフトを再生したときに、再生画像の左右をカットし4：3のサイズにする機能です。 テレビ画面

用語	説明
ピックアップレンズ	ディスクに記録されている信号を、光学的に読み取る部分のことです。
ビットレート	DVDビデオディスクに記録された映像・音声のデータを1秒間に読み込む量をあらわします。
吹き替え音声	DVDビデオディスクの特長の一つで、オリジナルの音声(英語など)と吹き替えの音声(日本語など)を一枚のディスクに収録し、切り換えて再生音声を楽しめる機能です。
プレイバックコントロール(PBC)	ビデオCDの再生方式の一つで、再生したときに画面に表示される情報を対話形式で選ぶことができる機能です。
マルチアングル	DVDビデオディスクの特長の一つで、同じ画像を角度を変えて撮影したものを、一枚のディスクに収録し、アングルを変えて再生画像を楽しめる機能です。(マルチアングル記録のディスクで楽しめる機能です。)
マルチ音声	DVDビデオディスクの特長の一つで、同じ画像に対して異なる音声をいくつも記録し、音声を切り換えて楽しめる機能です。(マルチ音声記録のディスクで楽しめる機能です。)
リージョン番号(再生可能地域番号)	DVDは、各国に合わせて再生できるソフトが決められています。その再生できるディスクの番号をリージョン番号といいます。
リニアPCM音声	音楽用CDに用いられている信号記録方式です。
4:3 LB レターボックス	4:3のテレビと本機を接続しワイド(16:9)ソフトを再生したとき、上下に黒い帯のある画像で再生される機能です。

さくいん

あ

か

さ

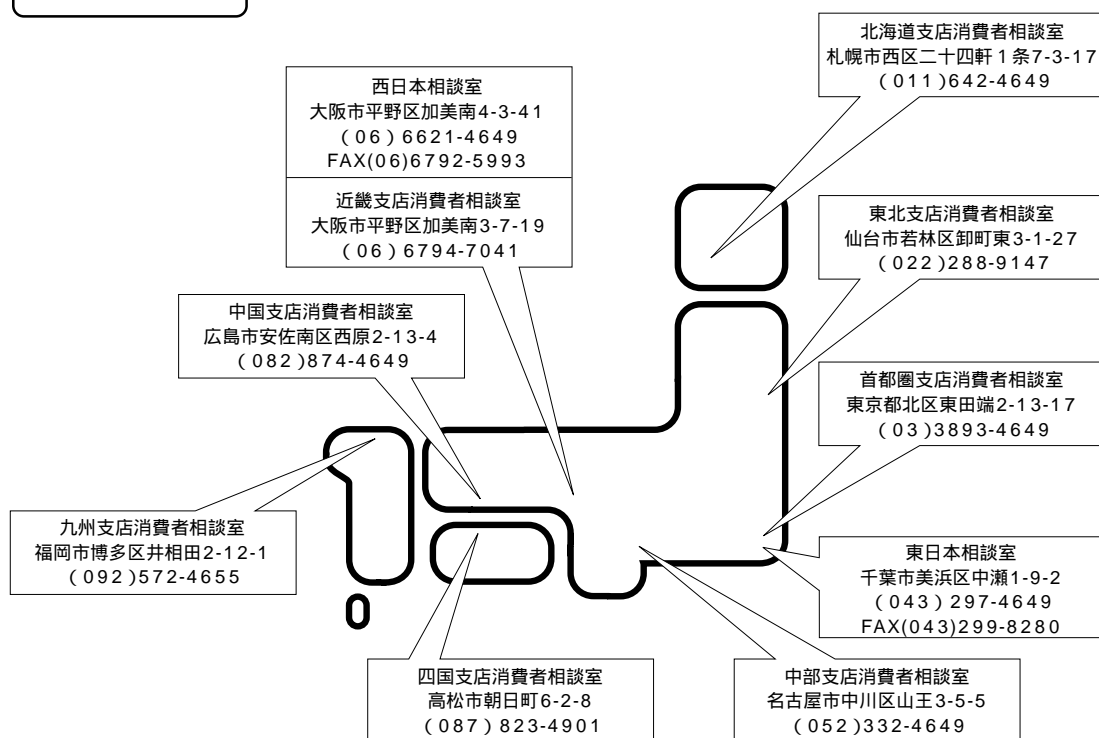
た

は

■修理サービスを依頼される前に８２ページの「故障かな?と思ったら」をもう一度お読みください。

【お問い合わせは】

この製品についてのご意見・ご質問は、シャープお客様ご相談窓口「一般ご相談窓口」へお申し付けください。製品の故障や部品のご購入などの相談は「修理ご相談窓口」へお申し付けください(くわしくは、86ページをご覧ください)。

一般ご相談窓口

シャープ株式会社

本　　　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
電話06（6621）1221（大代表）

AVシステム事業本部　〒329-2193　栃木県矢板市早川町174番地
電話　0287（43）1131(大代表)

TINS-3772AJZZ
PRINTED IN MALAYSIA

T1466-A
0P02-JMM